

6. 男女の人権の尊重について

(16) 男女の地位について

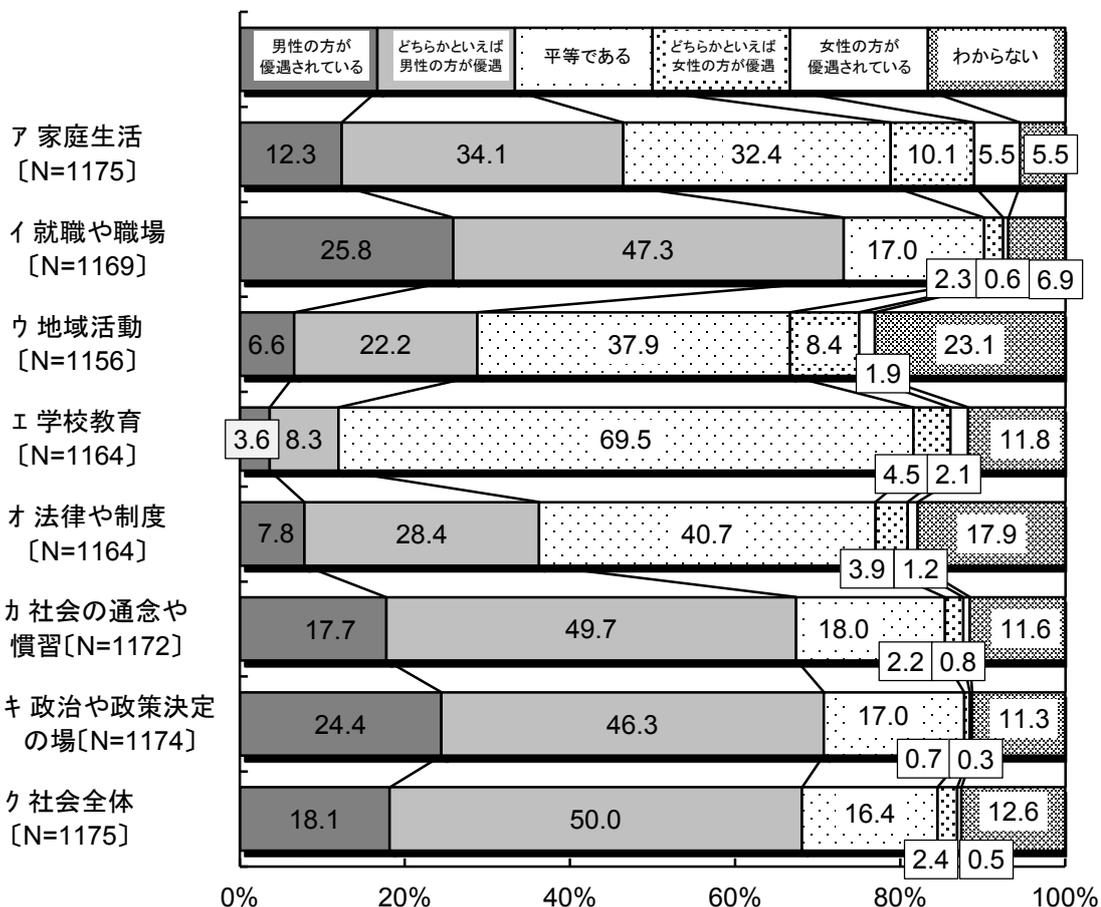
問16 あなたは、次のような事柄における男女の地位について、どのように感じますか。
それぞれについて1～6のいずれかに○

『男性優遇』⇒「家庭生活」「就職や職場」「社会の通念や慣習」
「政治や政策決定の場」「社会全体」
『平等である』⇒「地域活動」「学校教育」「法律や制度」

※「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて『男性優遇』，
「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて『女性優遇』
とする。

■男女の地位	『男性優遇』	平等	『女性優遇』
ア 家庭生活	46.4%	32.4%	15.6%
イ 就職や職場	73.1%	17.0%	2.9%
ウ 地域活動	28.8%	37.9%	10.3%
エ 学校教育	11.9%	69.5%	6.6%
オ 法律や制度	36.2%	40.7%	5.1%
カ 社会の通念や慣習	67.4%	18.0%	3.0%
キ 政治や政策決定の場	70.7%	17.0%	1.0%
ク 社会全体	68.1%	16.4%	2.9%

16-1図 男女の地位について〔全体〕



ア 家庭生活

『男性優遇』46.4%、「平等である」32.4%、『女性優遇』15.6%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が12.3%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.1%で『男性優遇』は46.4%となっている。

「女性の方が優遇されている」が5.5%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が10.1%で『女性優遇』は15.6%と『男性優遇』が大きく上回っている。

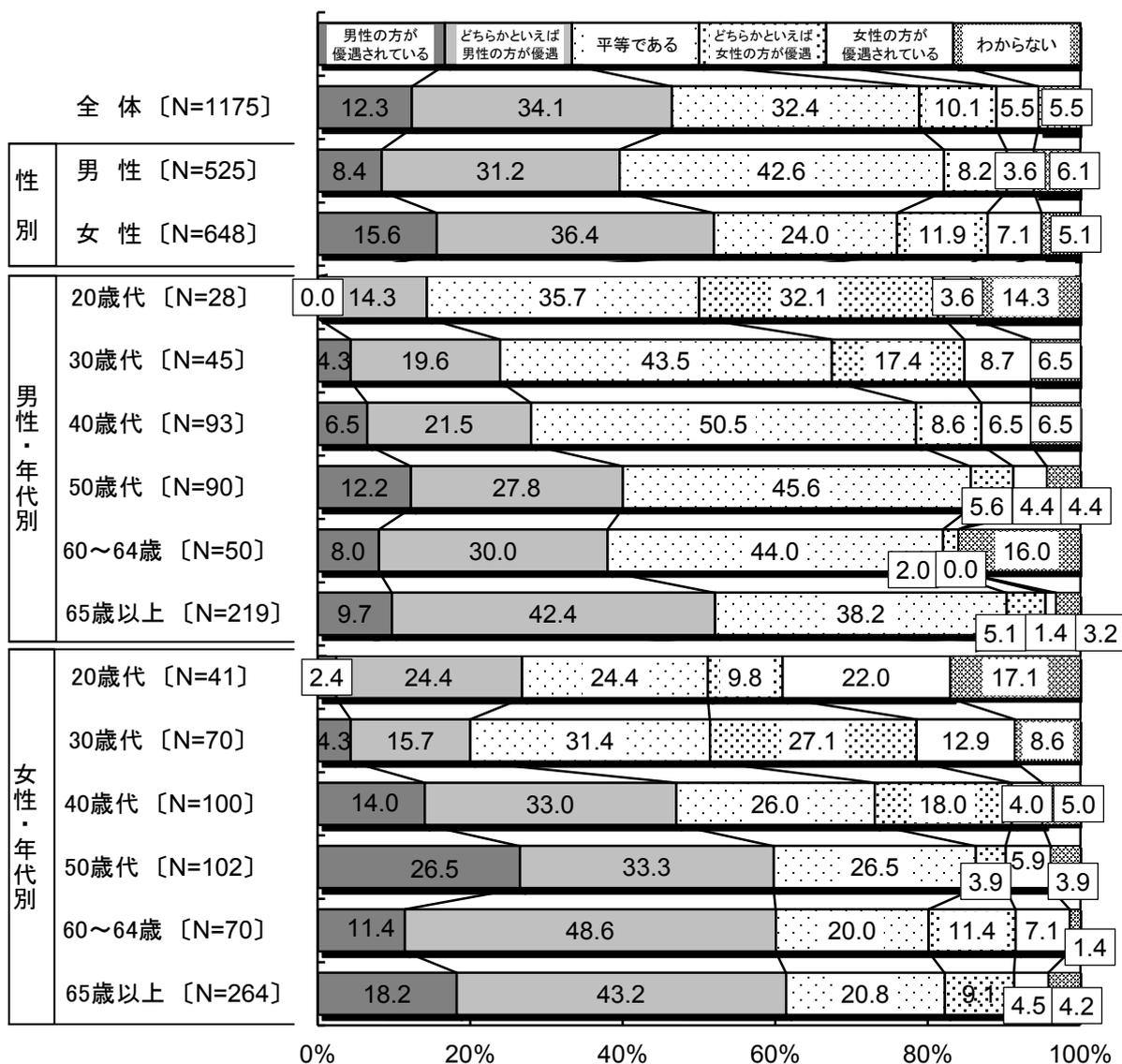
【性別】

女性は、『男性優遇』が52.0%で男性の39.6%より12.4ポイント高い。男性は、「平等である」が42.6%で女性の24.0%より18.6ポイント高い。

【性・年代別】

女性50歳代、60～64歳、65歳以上は、『男性優遇』が約6割で他の年代に比べて高い。また、女性50歳代は「男性の方が優遇されている」が26.5%で他の年代に比べ目立って高い。

16-2図 男女の地位について(ア 家庭生活)〔全体・性別・性・年代別〕



イ 就職や職場

『男性優遇』73.1%、「平等である」17.0%、『女性優遇』2.9%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が25.8%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が47.3%で『男性優遇』は73.1%となっている。

「女性の方が優遇されている」が0.6%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が2.3%で『女性優遇』は2.9%と『男性優遇』が大きく上回っている。

【性別】

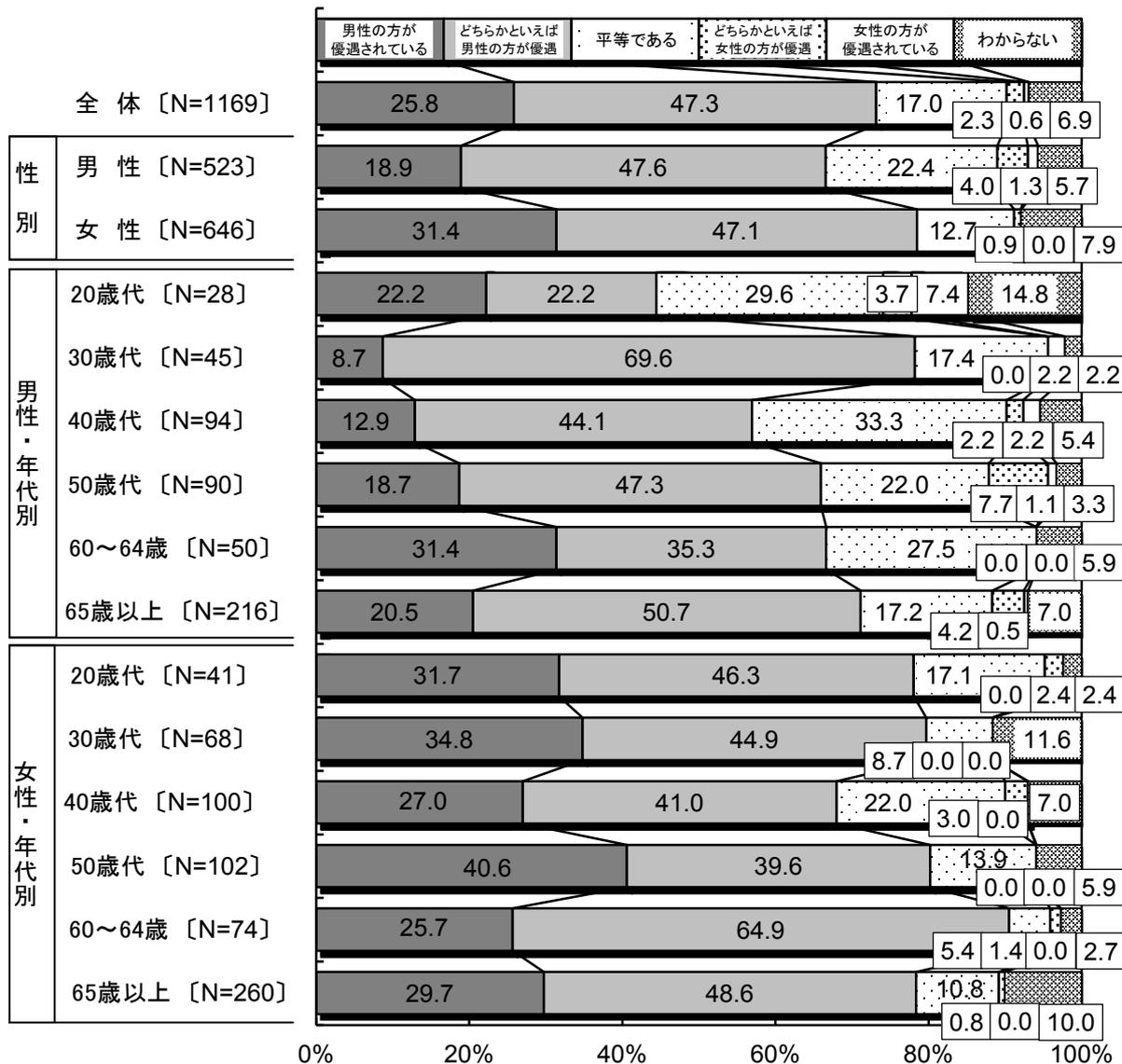
女性は、『男性優遇』が78.5%で男性の66.5%より12ポイント高い。男性は、「平等である」が22.4%で女性の12.7%より9.7ポイント高い。

【性・年代別】

女性60～64歳は、『男性優遇』が90.6%で他の年代に比べて高い。また、女性50歳代は、「男性の方が優遇されている」が40.6%で他の年代に比べ高い。

男性40歳代は、「平等である」が33.3%で他の年代に比べて高い。

16-3図 男女の地位について(イ 就職や職場)〔全体・性別・性・年代別〕



ウ 地域活動

『男性優遇』 28.8%, 「平等である」 37.9%, 『女性優遇』 10.3%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が6.6%, 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が22.2%で『男性優遇』は28.8%となっている。

「女性の方が優遇されている」が1.9%, 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が8.4%で『女性優遇』は10.3%と『男性優遇』が大きく上回っている。

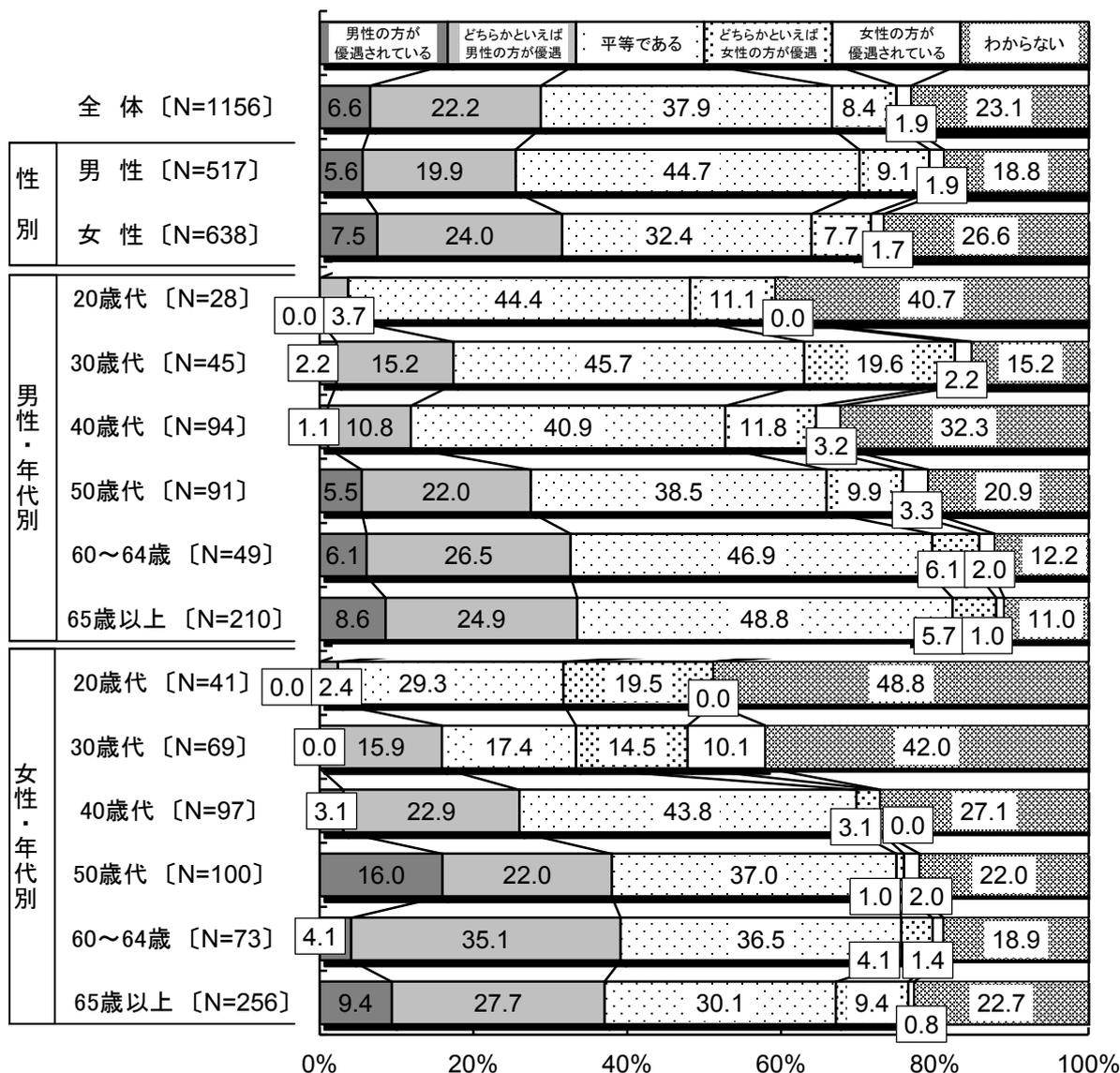
【性別】

女性は、『男性優遇』が31.5%で男性の25.5%より6ポイント高い。男性は、「平等である」が44.7%で女性の32.4%より12.3ポイント高い。

【性・年代別】

男性20歳代, 女性20歳代は、『男性優遇』がそれぞれ3.7%, 2.4%と他の年代に比べて低い。男性の全年代, 女性40歳代は「平等である」が最も高くなっている。

16-4図 男女の地位について(ウ 地域活動) [全体・性別・性・年代別]



エ 学校教育

「平等である」69.6%, 『男性優遇』11.9%, 『女性優遇』6.7%

【全体】

「平等である」が69.6%で最も高い。「男性の方が優遇されている」が3.6%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が8.3%で『男性優遇』は11.9%、「女性の方が優遇されている」が2.2%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が4.5%で『女性優遇』は6.7%と続いている。

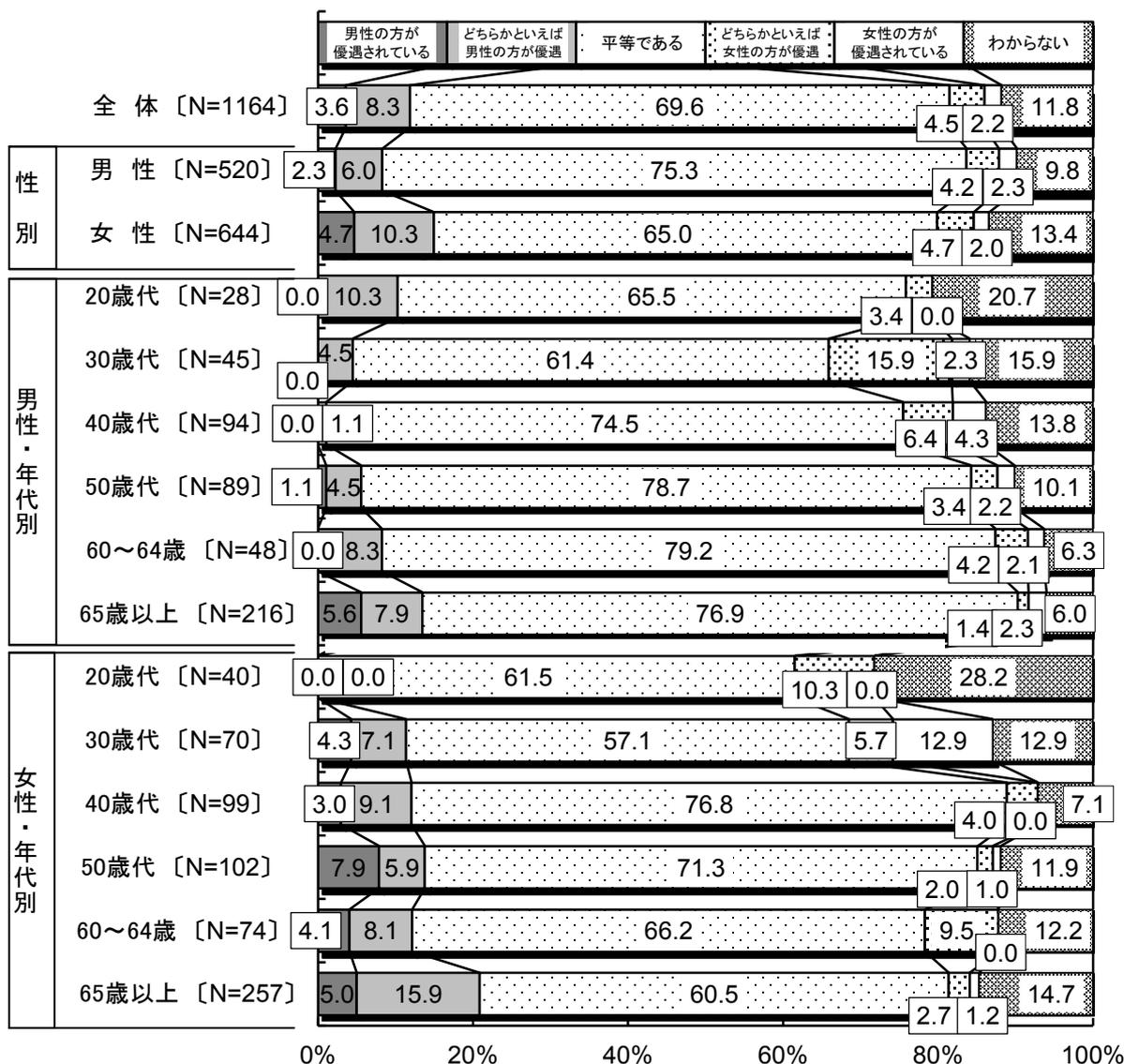
【性別】

男性は、「平等である」が75.3%で女性の65.0%より10.3ポイント高い。女性は、『男性優遇』が15.0%で男性の8.3%より6.7ポイント高い。

【性・年代別】

すべての年代で「平等である」が最も高いが、女性65歳以上は『男性優遇』が20.9%で他の年代に比べて高い。

16-5図 男女の地位について(エ 学校教育)〔全体・性別・性・年代別〕



オ 法律や制度

「平等である」40.7%, 『男性優遇』36.2%, 『女性優遇』5.1%

【全体】

「平等である」が40.7%で最も高い。「男性の方が優遇されている」が7.8%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.4%で『男性優遇』は36.2%、「女性の方が優遇されている」が1.2%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は3.9%で『女性優遇』が5.1%と続いている。

【性別】

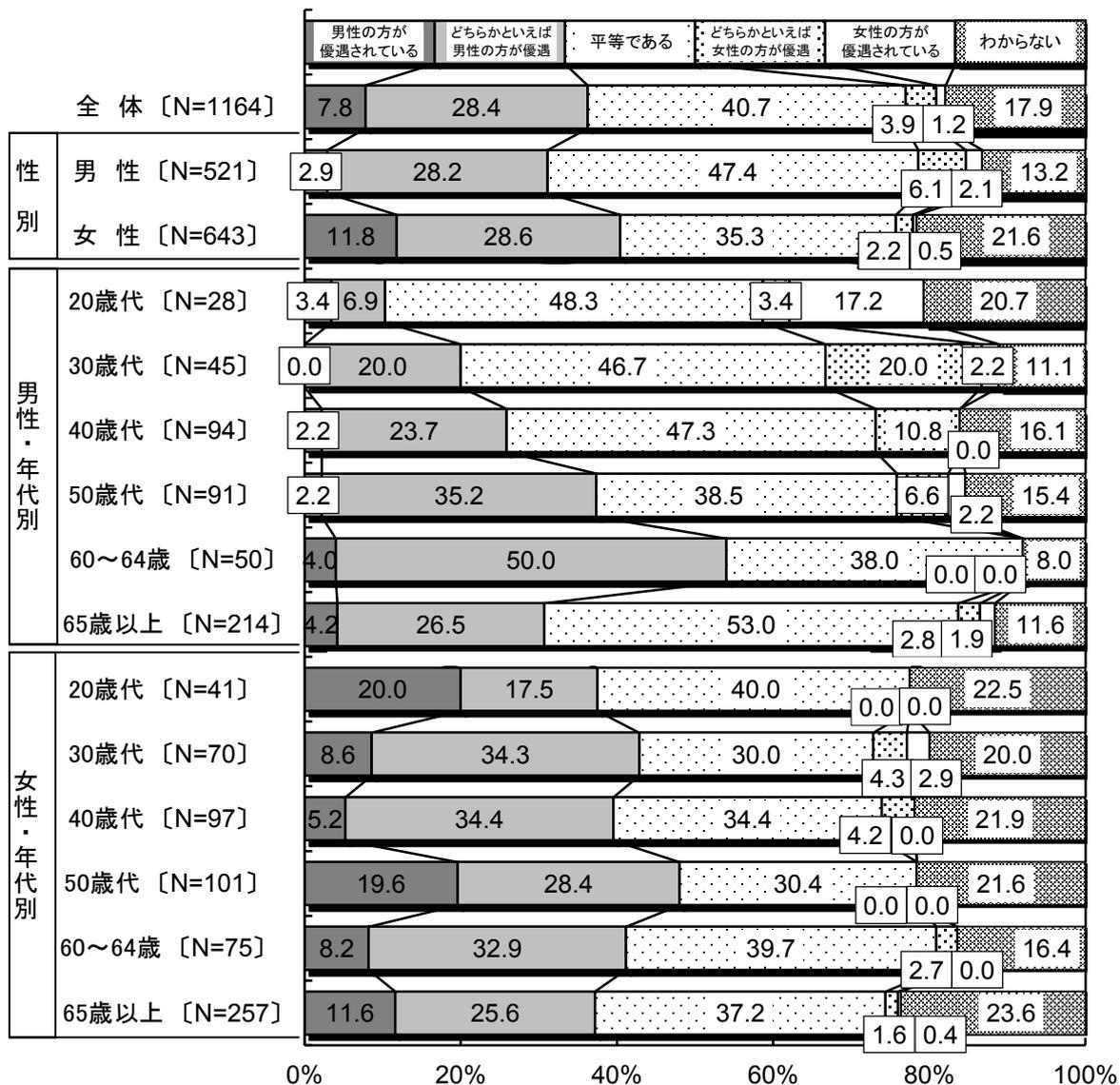
女性は、『男性優遇』が40.4%で男性の31.1%より9.3ポイント高い。男性は、「平等である」が47.4%で女性の35.3%より12.1ポイント高い。

【性・年代別】

男性20歳代は、『男性優遇』が10.3%、『女性優遇』が20.6%で、『女性優遇』が10.3ポイント上回っている。男性65歳以上は、「平等である」が53.0%で他の年代に比べて高い。

女性は、どの年代も『男性優遇』が『女性優遇』を上回っている。

16-6図 男女の地位について(オ 法律や制度)〔全体・性別・性・年代別〕



カ 社会の通念や慣習

『男性優遇』 67.4%, 「平等である」 18.0%, 『女性優遇』 3.0%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が17.7%, 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が49.7%で『男性優遇』は67.4%となっている。

「女性の方が優遇されている」が0.8%, 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が2.2%で『女性優遇』は3.0%と『男性優遇』が大きく上回っている。

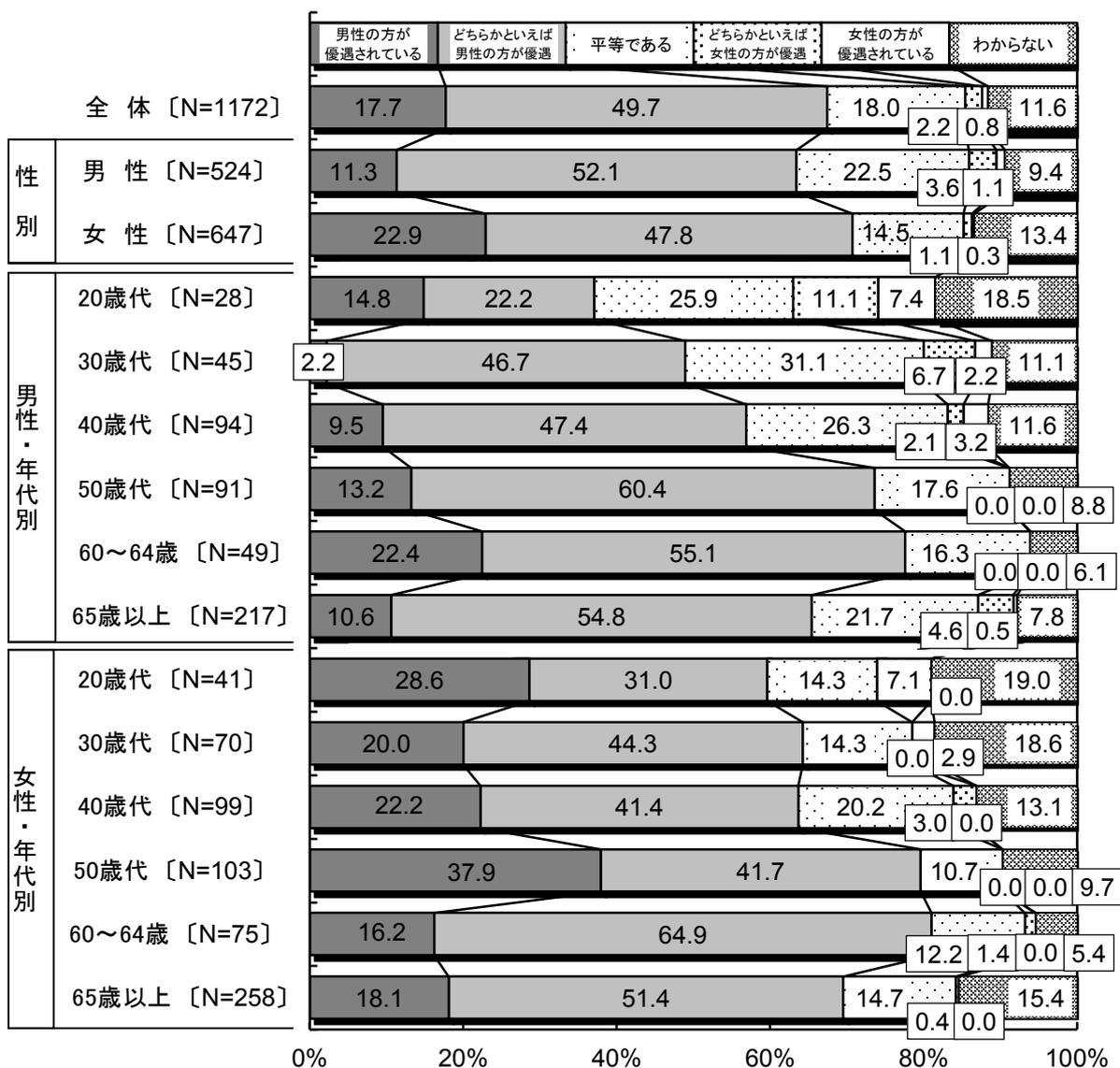
【性別】

女性は、『男性優遇』が70.7%で男性の63.4%より7.3ポイント高い。男性は、「平等である」が22.5%で女性の14.5%より8.0ポイント高い。

【性・年代別】

女性50歳代, 男性・女性60~64歳は『男性優遇』が約80%で他の年代に比べて高い。また, 女性50歳代は, 「男性の方が優遇されている」が37.9%で他の年代に比べ高い。

16-7図 男女の地位について(カ 社会の通念や慣習) [全体・性別・性・年代別]



キ 政治や政策決定の場

『男性優遇』70.7%, 「平等である」17.0%, 『女性優遇』1.0%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が24.4%, 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が46.3%で『男性優遇』は70.7%となっている。

「女性の方が優遇されている」が0.3%, 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が0.7%で『女性優遇』は1.0%と『男性優遇』が大きく上回っている。

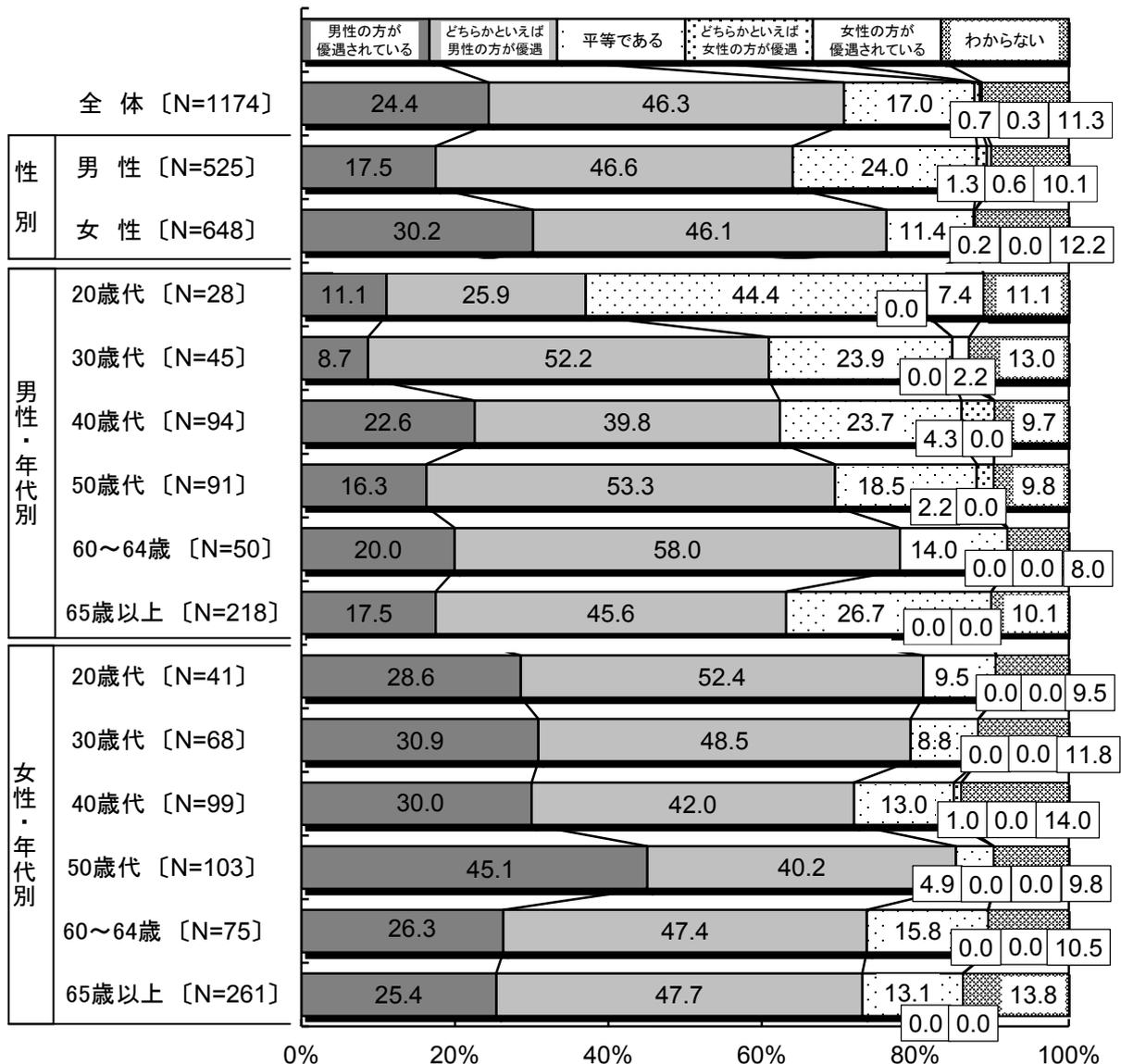
【性別】

女性は、『男性優遇』が76.3%で男性の64.1%より12.2ポイント高い。男性は, 「平等である」が24.0%で女性の11.4%より12.6ポイント高い。

【性・年代別】

男性20歳代は, 「平等である」が44.4%で他の年代に比べて高い。女性50歳代は『男性優遇』が85.3%で他の年代に比べて高い。また, 「男性の方が優遇されている」が45.1%で他の年代に比べて高い。

16-8図 男女の地位について(キ 政治や政策決定の場) [全体・性別・性・年代別]



ク 社会全体

『男性優遇』68.1%、「平等である」16.4%、『女性優遇』2.9%

【全体】

「男性の方が優遇されている」が18.1%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が50.0%で『男性優遇』は68.1%、「女性の方が優遇されている」が0.5%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が2.4%で『女性優遇』は2.9%と、『男性優遇』が大きく上回っている。

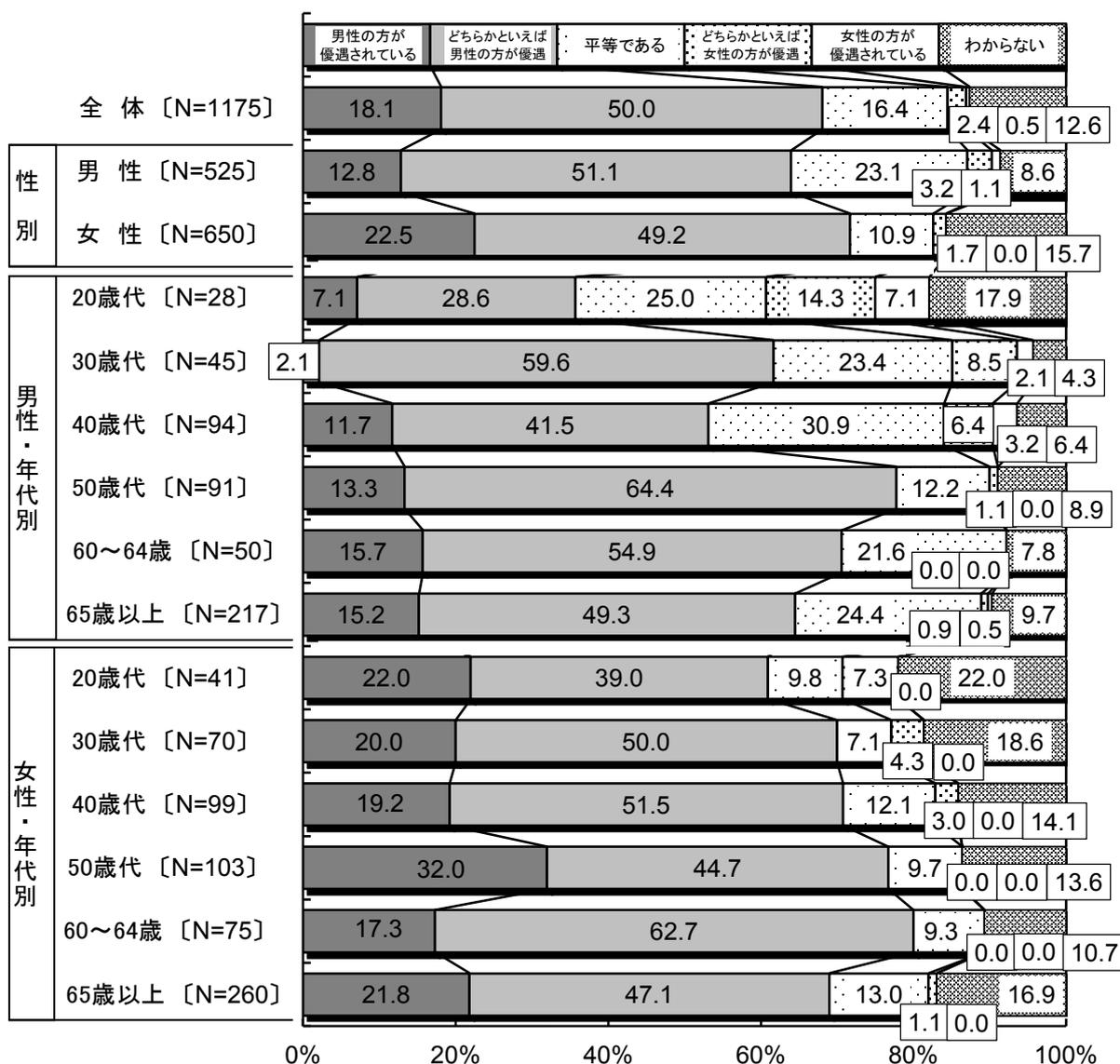
【性別】

女性は、『男性優遇』が71.7%で男性の63.9%より7.8ポイント高い。男性は、「平等である」が23.1%で女性の10.9%より12.2ポイント高い。

【性・年代別】

男性20歳代は、『男性優遇』が35.7%で他の年代に比べて低い。「男性の方が優遇されている」は男性20歳代、男性30歳代がそれぞれ7.1%、2.1%と他の年代に比べて低く、女性50歳代が32.0%と他の年代に比べて高い。

16-9図 男女の地位について(ク 社会全体)〔全体・性別・性・年代別〕



(17) 配偶者や恋人の間で行われた場合、暴力だと思う行為について

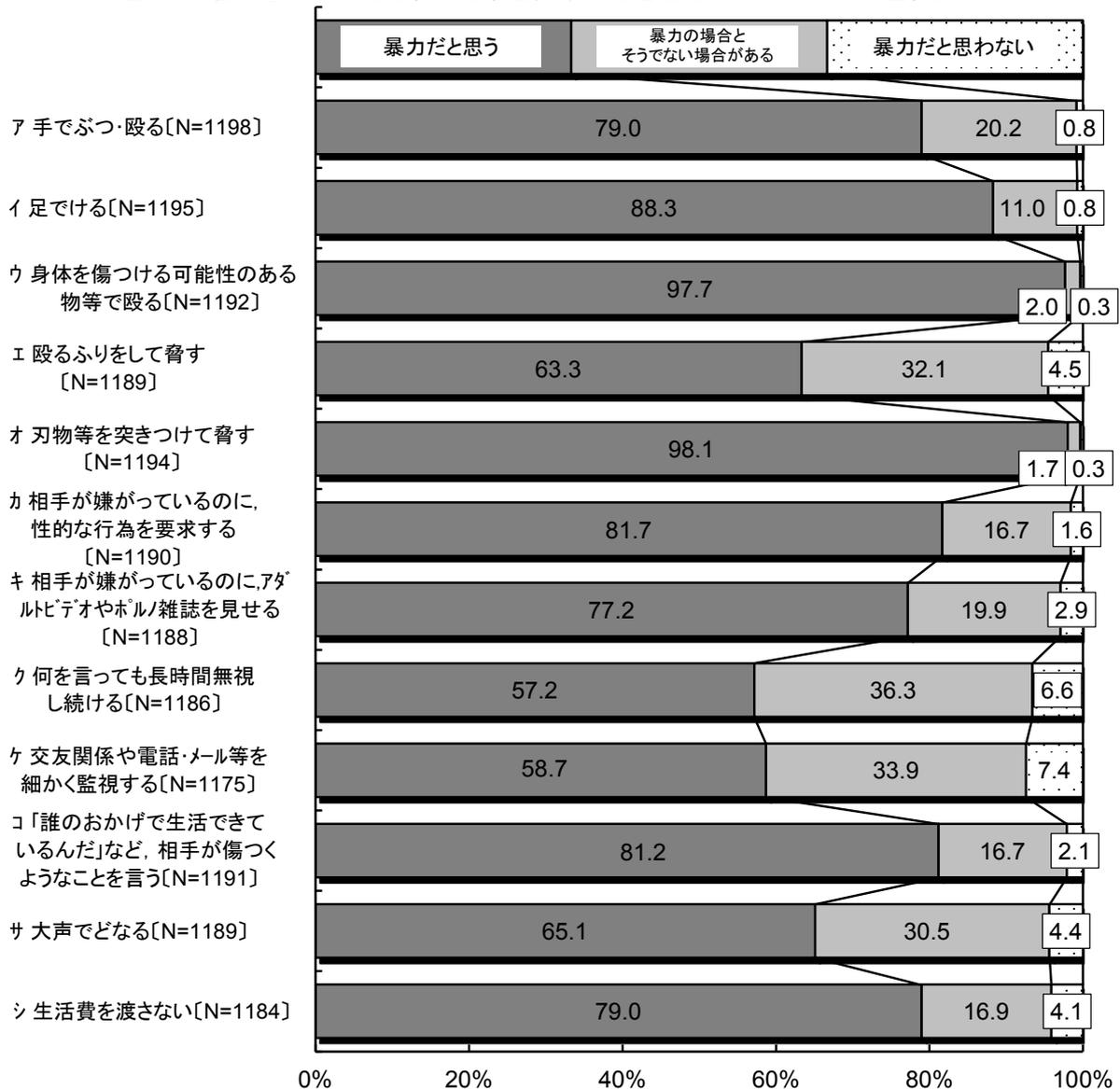
問17 あなたは、配偶者や恋人の間で行われる次のような行為を暴力だと思いますか。
それぞれについて1～3のいずれかに○

「刃物等を突きつけて脅す」	98.1%
「身体を傷つける可能性のある物等で殴る」	97.7%
「足でける」	88.3%

■「暴力だと思う」が70%以上 高い順

オ 刃物等を突きつけて脅す	98.1%
ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る	97.7%
イ 足でける	88.3%
カ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する	81.7%
コ 「誰のおかげで生活できているんだ」など、相手が傷つくようなことを言う	81.2%
ア 手でぶつ・殴る	79.0%
シ 生活費を渡さない	79.0%
キ 相手が嫌がっているのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	77.2%

17-1図 配偶者や恋人の間で行われた場合、暴力だと思う行為について〔全体〕



ア 手でぶつ・殴る

「暴力だと思う」が79.0%、「暴力の場合とそうでない場合がある」20.2%

【全体】

「暴力だと思う」が79.0%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が20.2%、「暴力だと思わない」は0.8%である。

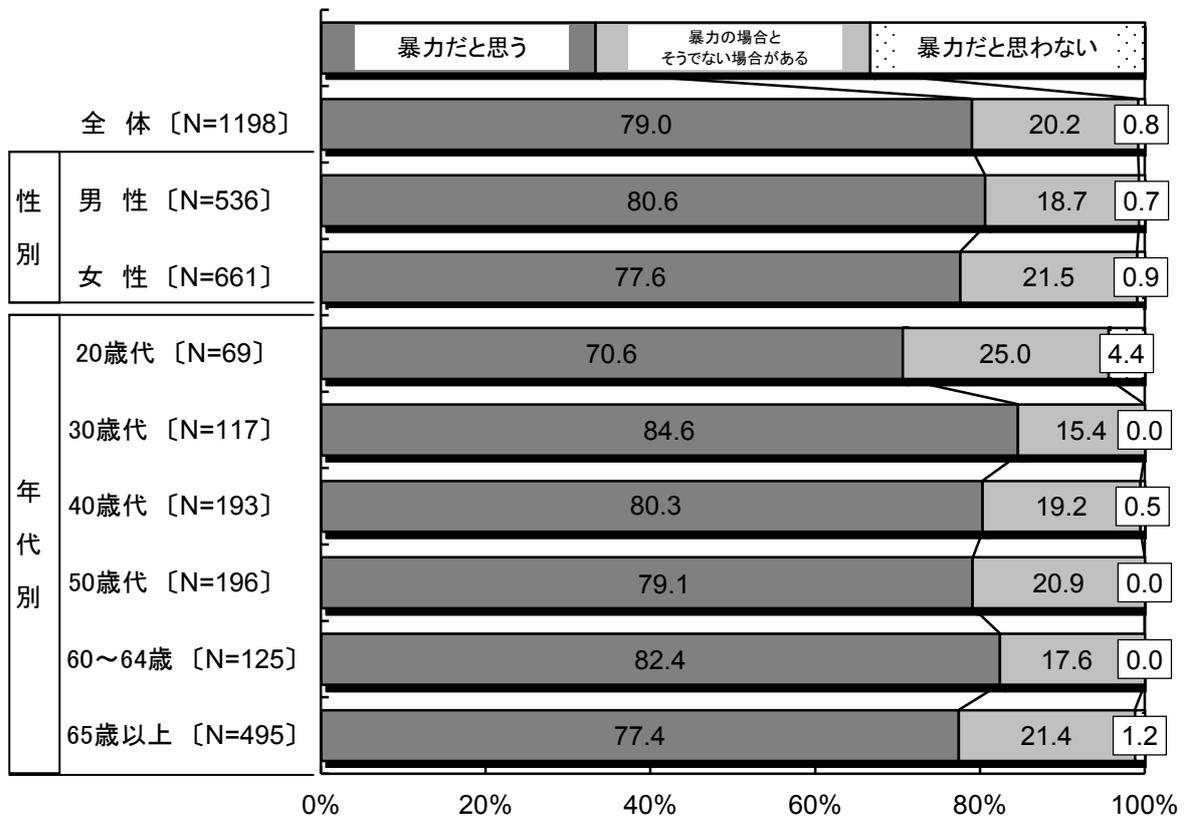
【性別】

20歳代は、「暴力だと思う」が70.6%で他の年代より低い。

【年代別】

特に大きな差異はない。

17-2図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(ア 手でぶつ・殴る)



イ 足でける

「暴力だと思う」が88.3%、「暴力の場合とそうでない場合がある」11.0%

【全体】

「暴力だと思う」が88.3%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が11.0%、「暴力だと思わない」は0.8%である。

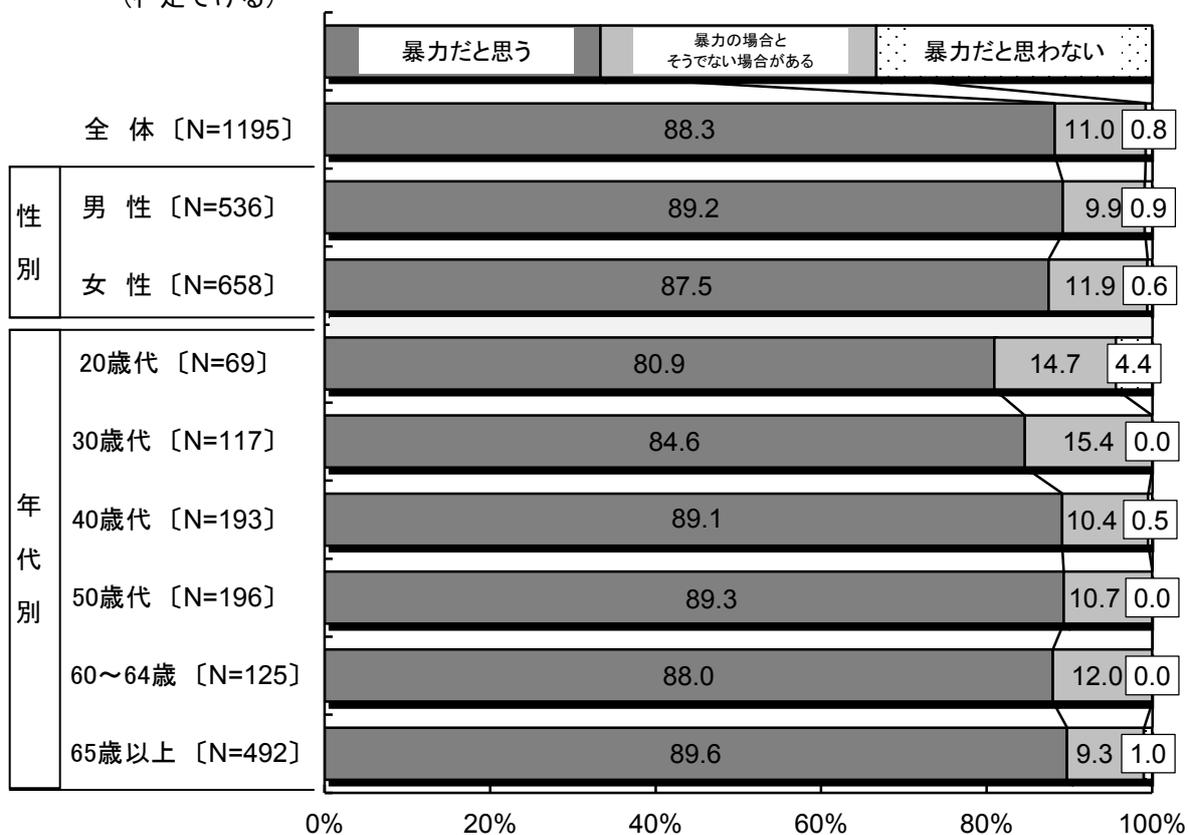
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

特に大きな差異はない。

17-3図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(イ 足でける)



ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る

「暴力だと思う」が97.7%

【全体】

「暴力だと思う」が97.7%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が2.0%、「暴力だと思わない」は0.3%である。

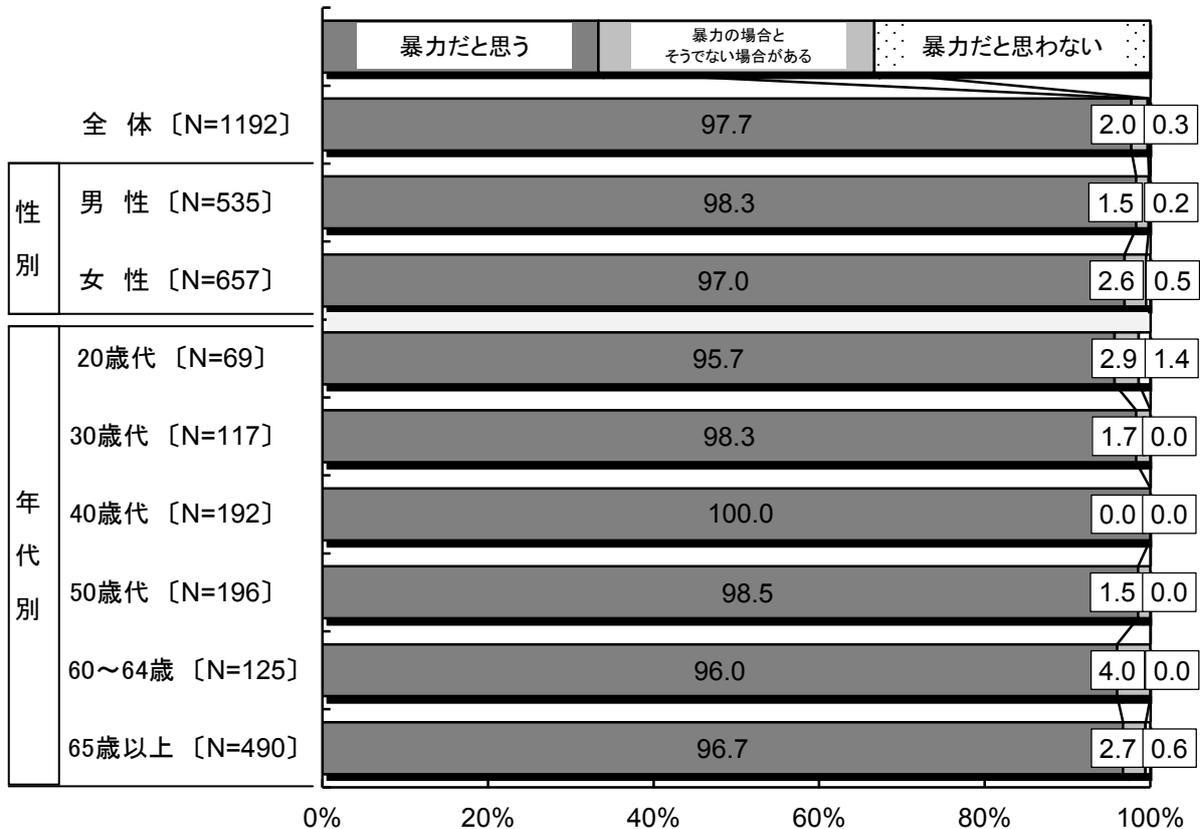
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

特に大きな差異はない。

17-4図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る)



エ 殴るふりをして脅す

「暴力だと思う」63.3%、「暴力の場合とそうでない場合がある」32.1%

【全体】

「暴力だと思う」が63.3%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が32.1%、「暴力だと思わない」は4.5%である。

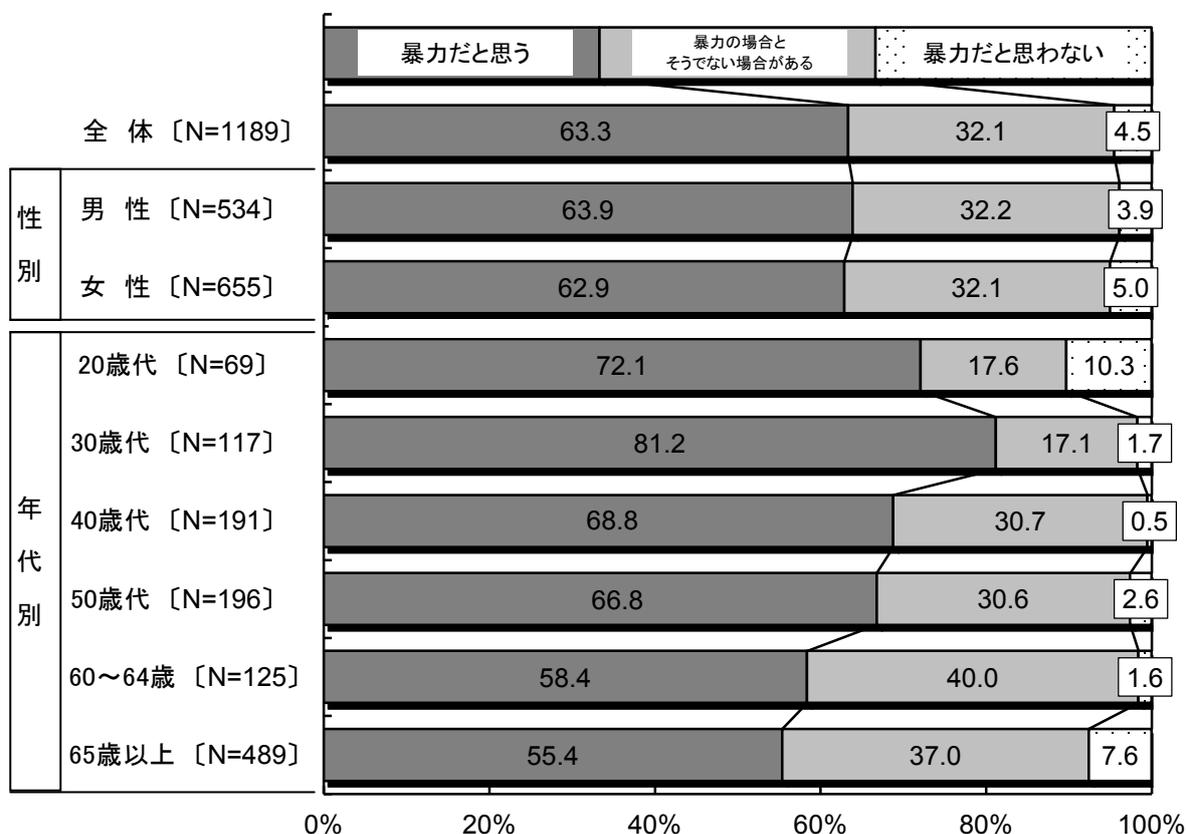
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

30歳代は、「暴力だと思う」が81.2%で他の年代に比べて高い。年代が上がるにつれて「暴力だと思う」は低くなり、「暴力の場合とそうでない場合がある」が高くなっている。

17-5図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(エ 殴るふりをして脅す)



オ 刃物等を突きつけて脅す

「暴力だと思う」が98.0%

【全体】

「暴力だと思う」が98.0%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」は1.7%、「暴力だと思わない」は0.3%である。

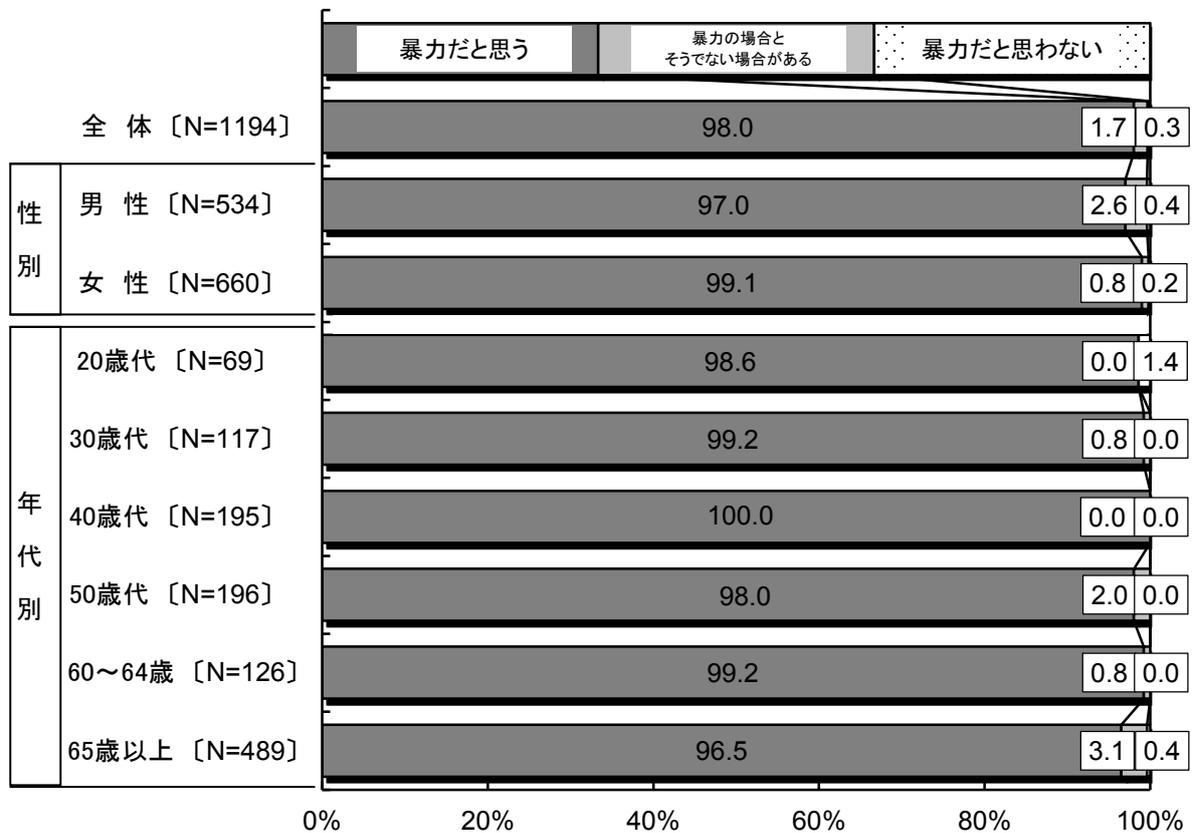
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

特に大きな差異はない。

17-6図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(オ 刃物等を突きつけて脅す)



カ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する

「暴力だと思う」が81.7%、「暴力の場合とそうでない場合がある」16.7%

【全体】

「暴力だと思う」が81.7%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が16.7%、「暴力だと思わない」は1.6%である。

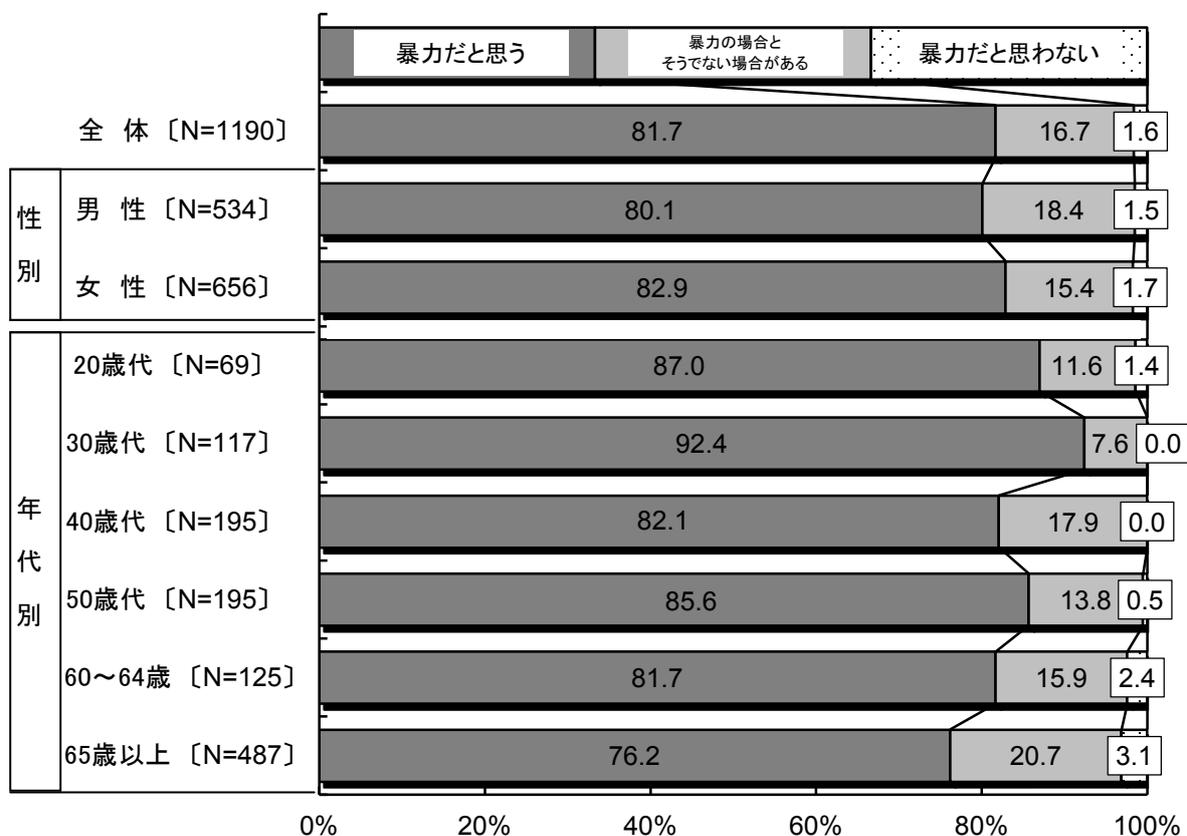
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

65歳以上は、「暴力だと思う」が76.2%で他の年代に比べて低い。

17-7図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(カ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する)



キ 相手が嫌がっているのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せる

「暴力だと思う」が77.2%、「暴力の場合とそうでない場合がある」19.9%

【全体】

「暴力だと思う」が77.2%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が19.9%、「暴力だと思わない」は2.9%である。

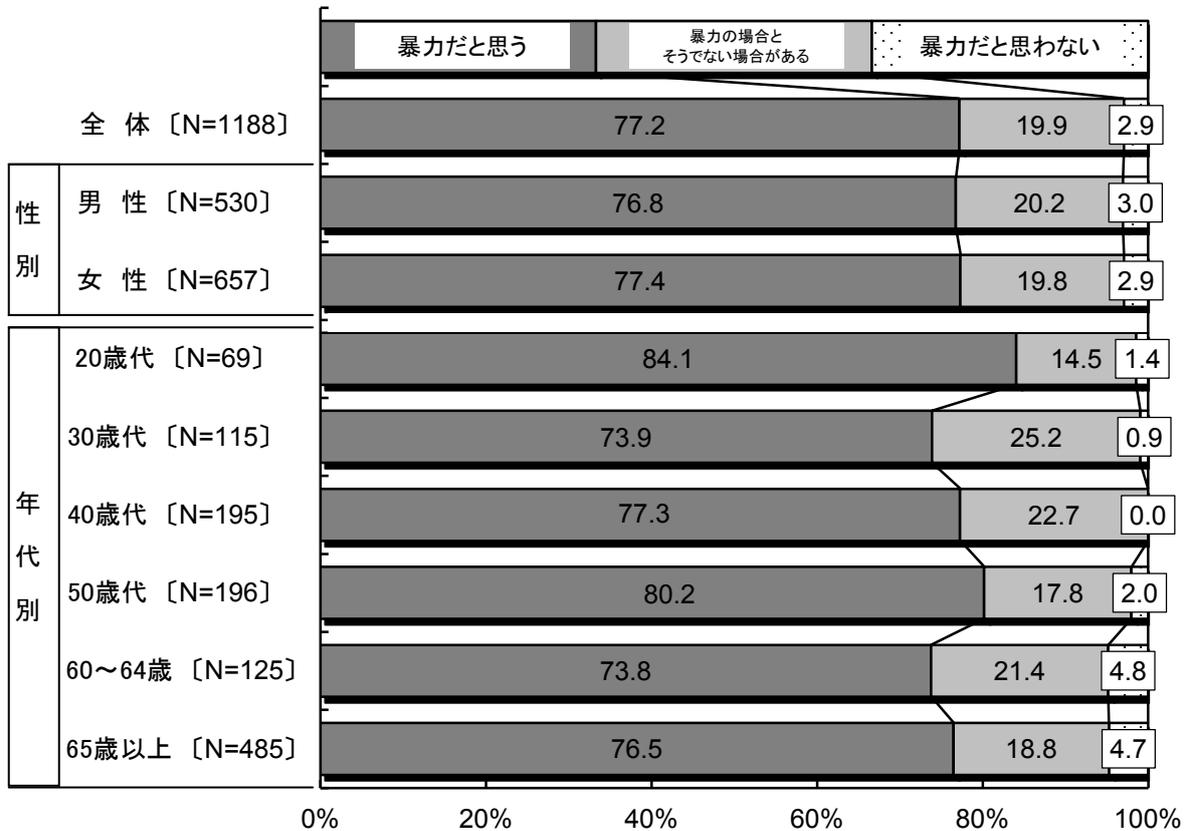
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

20歳代は「暴力だと思う」が84.1%と他の年代より若干高い。

17-8図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(キ 相手が嫌がっているのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せる)



ク 何を言っても長時間無視し続ける

「暴力だと思う」57.2%、「暴力の場合とそうでない場合がある」36.3%

【全体】

「暴力だと思う」が57.2%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が36.3%、「暴力だと思わない」は6.6%である。

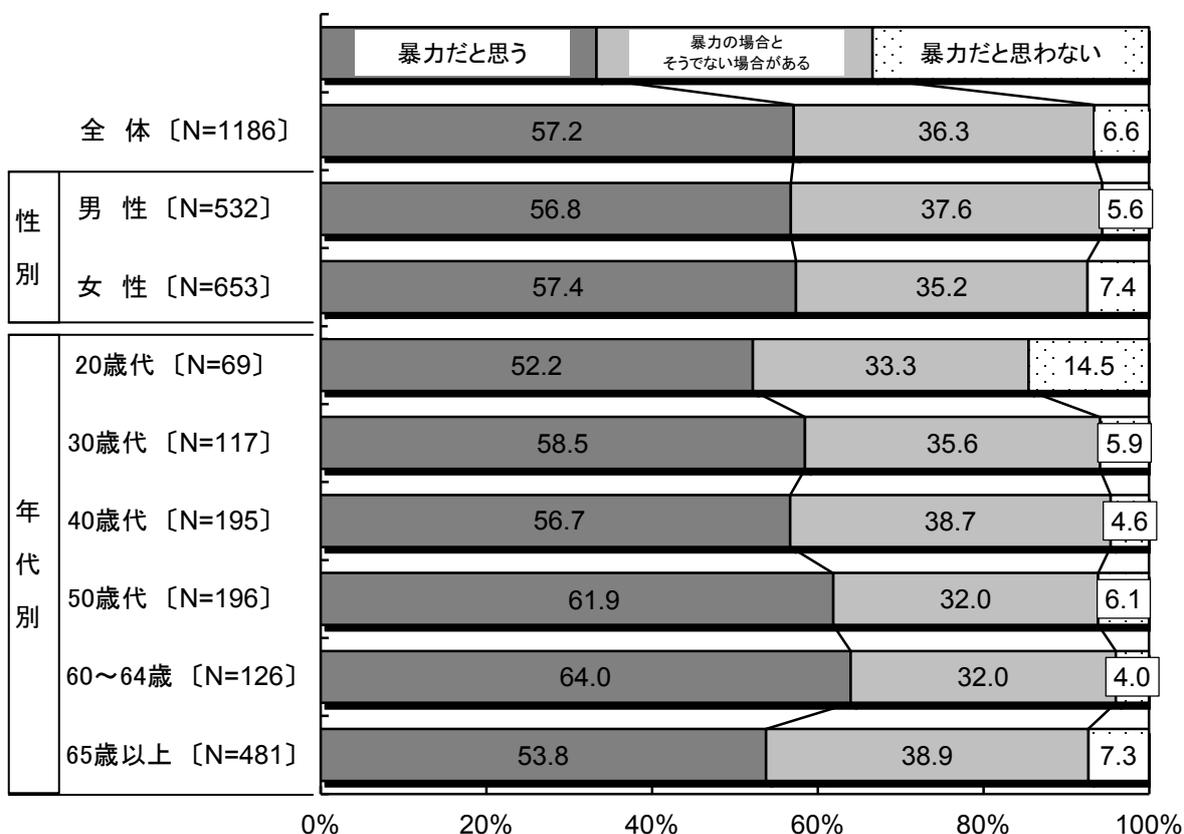
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

20歳代は、「暴力だと思わない」が14.5%で他の年代に比べて高い。

17-9図 暴力だと思う行為について【全体・性別・年代別】
(ク 何を言っても長時間無視し続ける)



ケ 交友関係や電話・メール等を細かく監視する

「暴力だと思う」58.7%、「暴力の場合とそうでない場合がある」33.9%

【全体】

「暴力だと思う」が58.7%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が33.9%、「暴力だと思わない」は7.4%である。

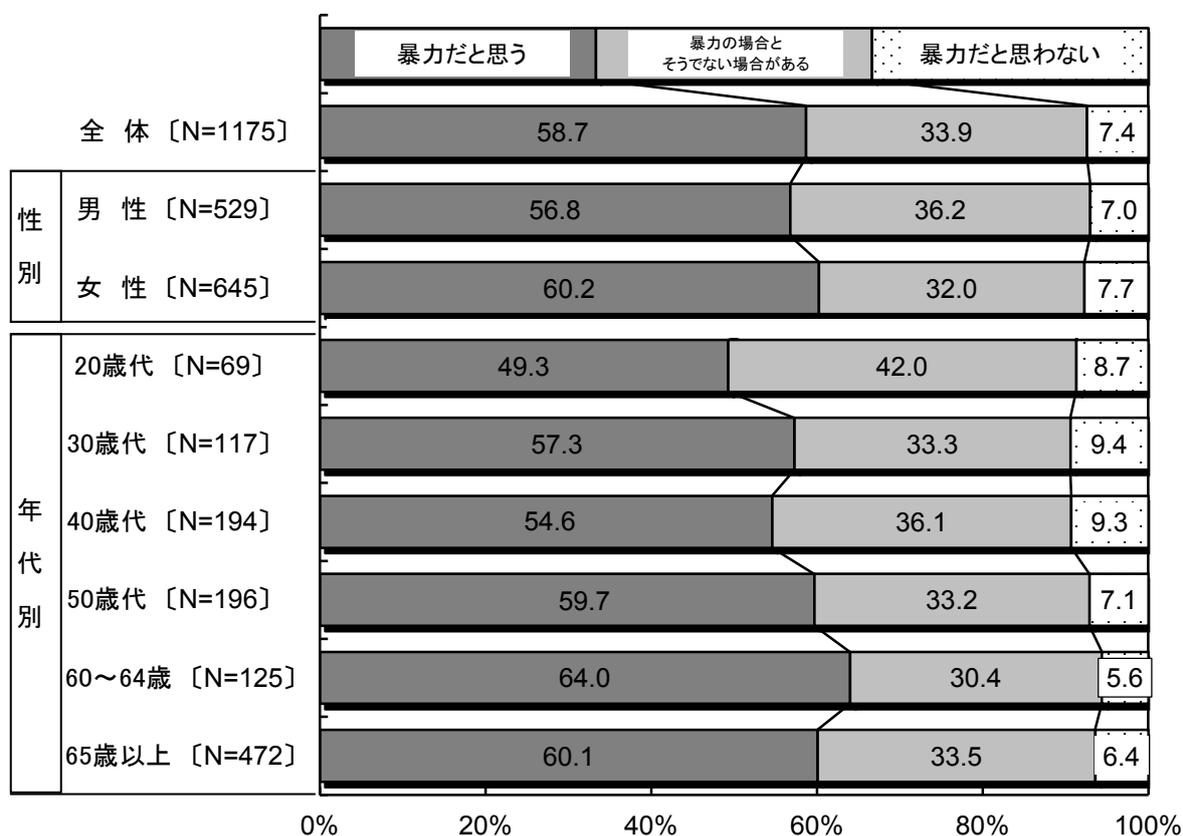
【性別】

特に大きな差異はない。

【年代別】

50歳代、60～64歳、65歳以上は、「暴力だと思う」が60%前後で他の年代に比べて高い。20歳代は、「暴力だと思う」が49.3%で他の年代に比べて低い。

17-10図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
（ケ 交友関係や電話・メール等を細かく監視する）



コ 相手が傷つくようなことを言う

「暴力だと思う」が81.2%、「暴力の場合とそうでない場合がある」16.7%

【全体】

「暴力だと思う」が81.2%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が16.7%、「暴力だと思わない」は2.1%である。

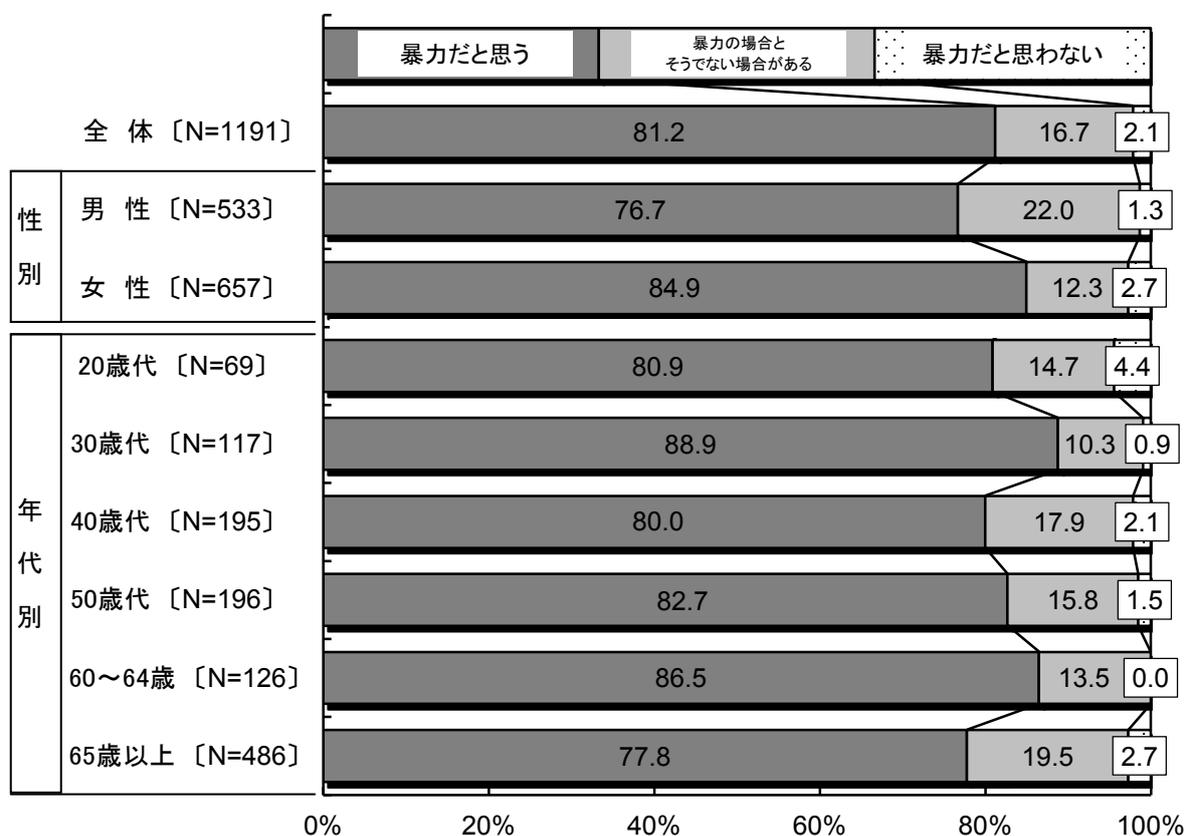
【性別】

「暴力だと思う」は、女性が84.9%で男性の76.7%より8.2ポイント高く、男性は「暴力の場合とそうでない場合がある」が22.0%で女性の12.3%より9.7ポイント高い。

【年代別】

特に大きな差異はない。

17-11図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
 (コ 相手が傷つくようなことを言う)



サ 大声でどなる

「暴力だと思う」65.1%、「暴力の場合とそうでない場合がある」30.5%

【全体】

「暴力だと思う」が65.1%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が30.5%、「暴力だと思わない」は4.4%である。

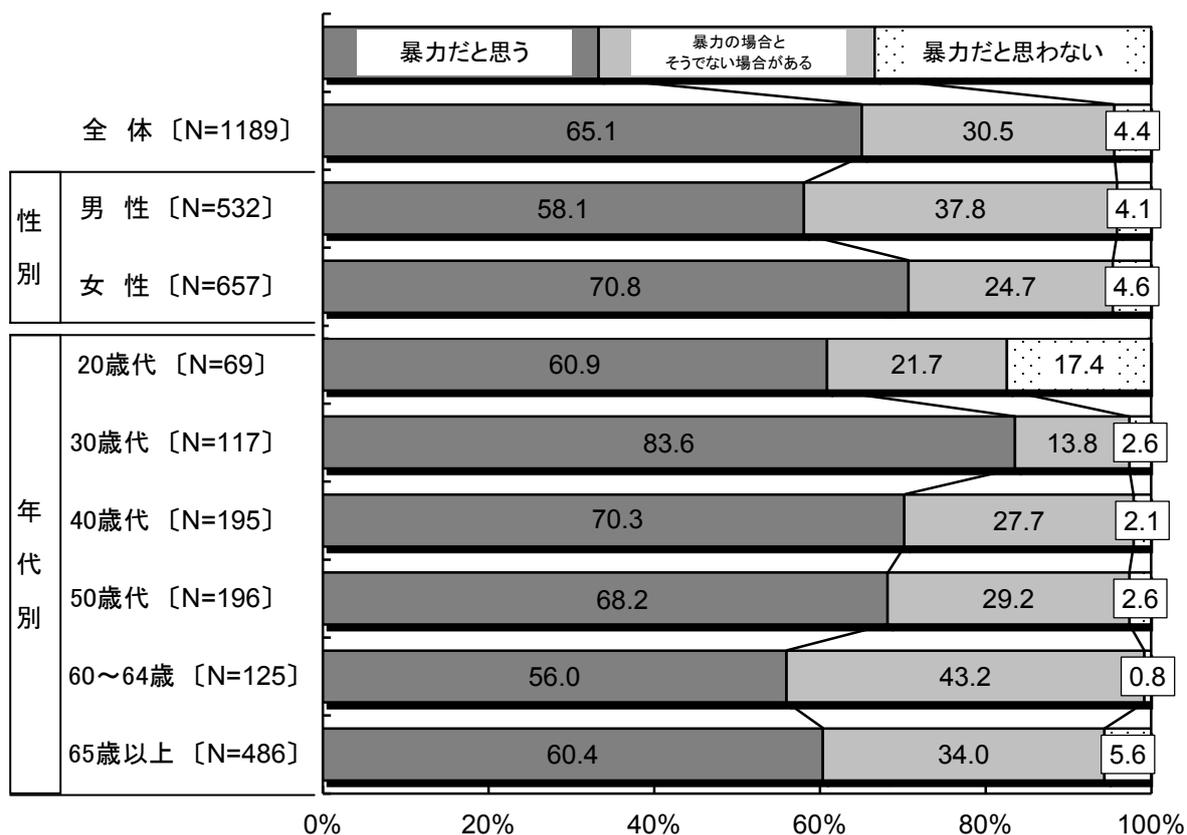
【性別】

「暴力だと思う」は、女性が70.8%で男性の58.1%より12.7ポイント高く、男性は「暴力の場合とそうでない場合がある」が37.8%で女性の24.7%より13.1ポイント高い。

【年代別】

30歳代は、「暴力だと思う」が83.6%で他の年代に比べて高い。60～64歳は、「暴力の場合とそうでない場合がある」が43.2%と他の年代に比べて高い。

17-12図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(サ 大声でどなる)



シ 生活費を渡さない

「暴力だと思う」が79.0%、「暴力の場合とそうでない場合がある」16.9%

【全体】

「暴力だと思う」が79.0%と最も高く、「暴力の場合とそうでない場合がある」が16.9%、「暴力だと思わない」は4.1%である。

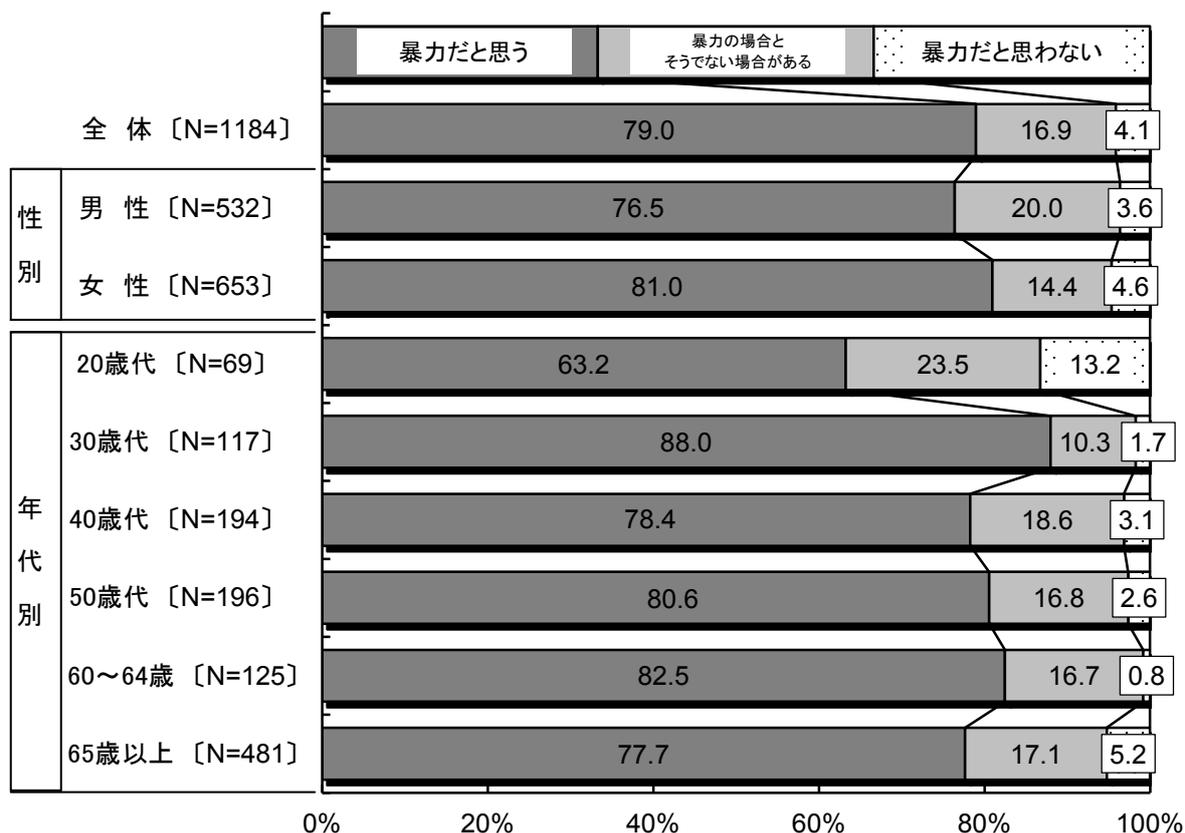
【性別】

男性は、「暴力の場合とそうでない場合がある」が20.0%で女性の14.4%より5.6ポイント高い。

【年代別】

20歳代は、「暴力だと思う」が63.2%で他の年代に比べて低く、30歳代は「暴力だと思う」が88.0%で他の年代に比べて高い。

17-13図 暴力だと思う行為について〔全体・性別・年代別〕
(シ 生活費を渡さない)



(18-1) 配偶者や恋人の間で行われる暴力だと思ふ行為の経験について

問18-1 あなたは、配偶者や恋人との間で次のような行為を経験したことがありますか。
それぞれについて1～4のいずれかに○

「経験がある」49.4%、「経験はない」50.6% ⇒ 半数近くは経験がある

※配偶者や恋人との間で行われる暴力だと思ふ行為(次頁 ア 手でぶつ・殴る～シ 生活費を渡さない)の項目に「したことがある」「両方」「されたことがある」のいずれか1つでも○がある場合、「経験がある」とする。

【全体】

「経験がある」が49.4%、「経験はない」が50.6%である。

【性別】

特に大きな差異はない。

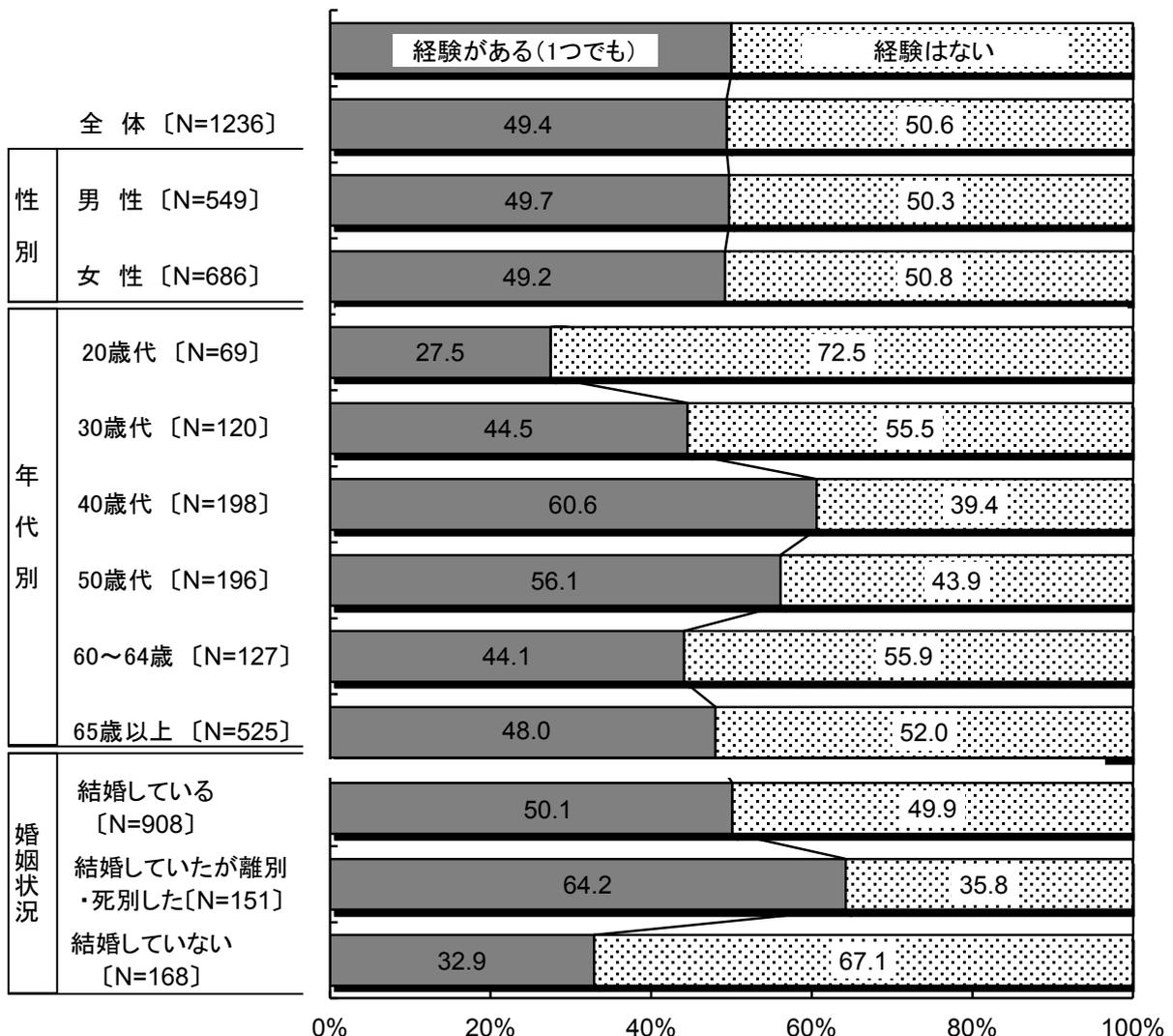
【年代別】

40歳代は「経験がある」が60.6%で最も高く、50歳代が56.1%で続いている。

【婚姻状況】

結婚していたが離別・死別した人は「経験がある」が64.2%と高く、結婚していない人は32.9%と低い。

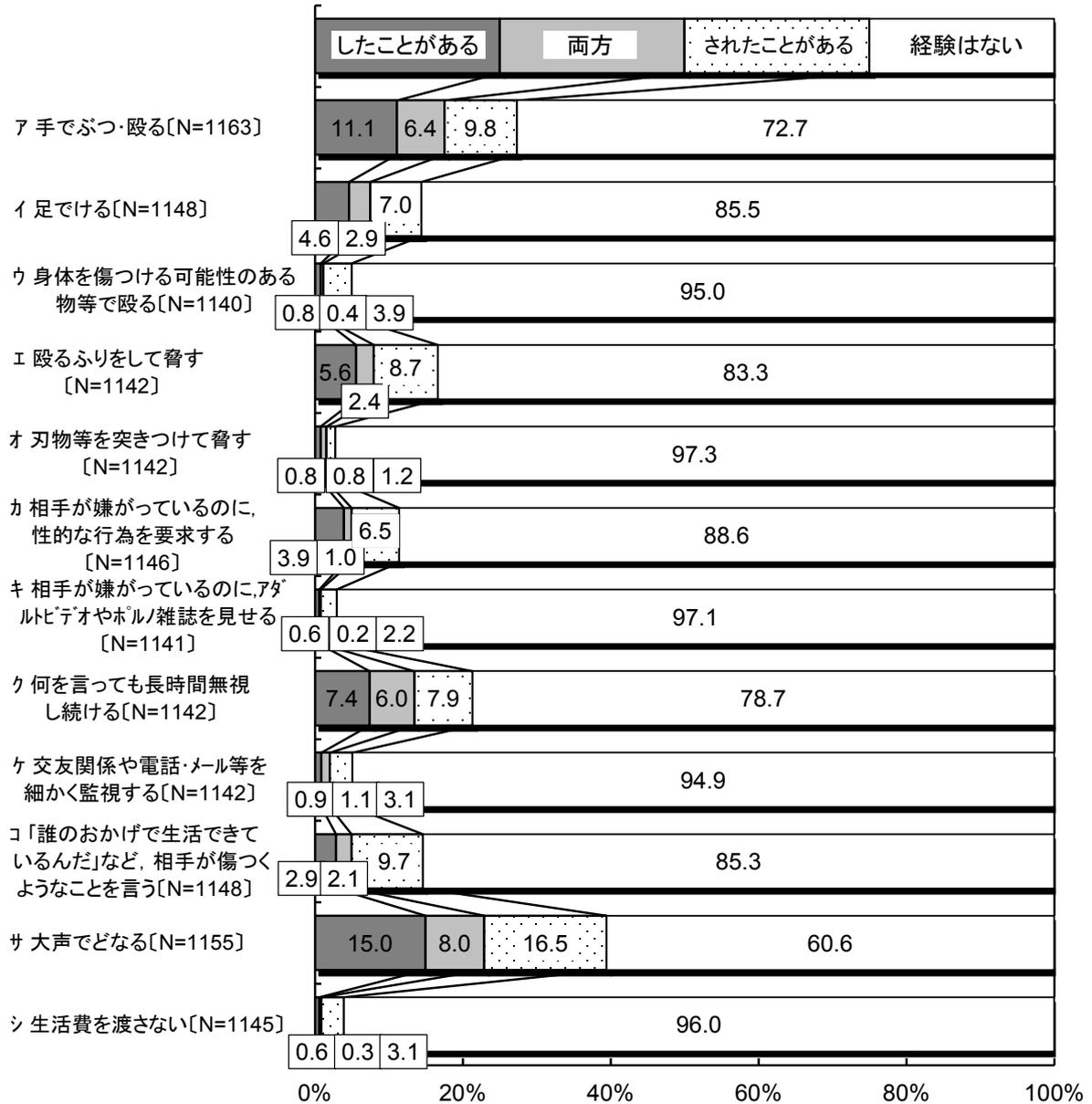
18(1)-1図 配偶者や恋人の間で行われる暴力だと思ふ行為の経験有無について
〔全体・性別・年代別・婚姻状況別〕



【行為別】

各行為とも「経験はない」が最も多いが、「サ 大声でどなる」が「したことがある (15.0%)」「されたことがある (16.5%)」「両方 (8.0%)」とも各行為の中で最も高く、ついで「ア 手でぶつ・殴る」が「したことがある (11.1%)」「されたことがある (9.8%)」「両方 (6.4%)」と高い。

18(1)-2図 配偶者や恋人の間で行われる暴力だと思ふ行為の経験有無について〔行為別〕



【性別】

全体では、いずれかの行為を「したことがある」は男性209人、女性88人、「されたことがある」は男性64人、女性275人で「したことがある」は男性が多く、「されたことがある」は女性が多い。

行為別に「経験がある」の実数では、「シ 大声でどなる」は男性203人、女性252人で男性、女性共に「経験がある」の実数が最も多く、ついで「ア 手でぶつ・殴る」が男性145人、女性173人、「ク 何を言っても長時間無視し続ける」が男性115人、女性128人と続く。

また、「サ 大声でどなる」は、女性が「されたことがある」が最も多いのに対し、男性は「したことがある」が最も多い。

18(1)-1表 配偶者や恋人の間で行われる暴力だと思う行為の経験有無について(実数・%)〔男性〕

行為別	人数	したことがある	両方	されたことがある	経験がある	経験がある(%)
ア 手でぶつ・殴る	517	89	41	15	145	28.0
イ 足でける	514	32	20	18	70	13.6
ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る	510	5	2	6	13	2.5
エ 殴るふりをして脅す	512	53	14	15	82	16.0
オ 刃物等を突きつけて脅す	512	6	1	2	9	1.8
カ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する	515	41	5	3	49	9.5
キ 相手が嫌がっているのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	511	6	1	1	8	1.6
ク 何を言っても長時間無視し続ける	511	54	39	22	115	22.5
ケ 交友関係や電話・メール等を細かく監視する	510	6	5	11	22	4.3
コ 「誰のおかげで生活できているんだ」とか「かいしょうなし」など、相手が傷つくようなことを言う	510	21	16	14	51	10.0
サ 大声でどなる	514	137	51	15	203	39.5
シ 生活費を渡さない	514	5	2	2	9	1.8
全体	549	209	109	64	273	49.7

18(1)-2表 配偶者や恋人の間で行われる暴力だと思う行為の経験有無について(実数・%)〔女性〕

行為別	人数	したことがある	両方	されたことがある	経験がある	経験がある(%)
ア 手でぶつ・殴る	645	40	34	99	173	26.8
イ 足でける	634	21	13	62	96	15.1
ウ 身体を傷つける可能性のある物等で殴る	630	3	2	38	43	6.8
エ 殴るふりをして脅す	630	12	13	84	109	17.3
オ 刃物等を突きつけて脅す	630	3	8	12	23	3.7
カ 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する	631	4	6	70	80	12.7
キ 相手が嫌がっているのに、アダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	630	0	1	23	24	3.8
ク 何を言っても長時間無視し続ける	631	31	30	67	128	20.3
ケ 交友関係や電話・メール等を細かく監視する	631	4	8	24	36	5.7
コ 「誰のおかげで生活できているんだ」とか「かいしょうなし」など、相手が傷つくようなことを言う	638	12	8	97	117	18.3
サ 大声でどなる	641	36	41	175	252	39.3
シ 生活費を渡さない	630	3	1	32	36	5.7
全体	686	88	94	275	337	49.2

(18-2) 配偶者や恋人間の暴力に関する相談状況について〔複数回答〕

問18-2 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。○はいくつでも

「どこ(だれ)にも相談しなかった」	67.2%
「友人・知人に相談した」	20.1%
「親族に相談した」	19.0%

【全体】

「どこ(だれ)にも相談しなかった」が67.2%と最も高く、「友人・知人に相談した」が20.1%、「親族に相談した」が19.0%で続いている。

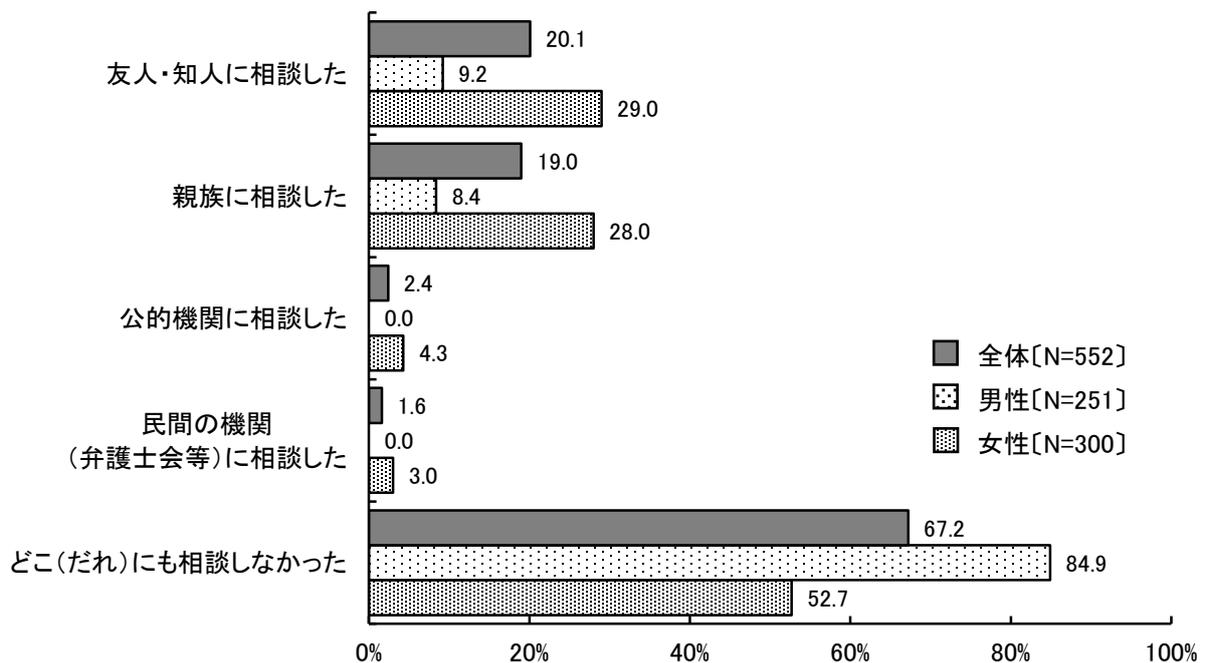
「公的機関に相談した」は、2.4%と少ない。

【性別】

男性は、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が84.9%で、女性の52.7%に比べて32.2ポイント高い。女性は、「友人・知人に相談した」が29.0%、「親族に相談した」が28.0%でいずれも男性（それぞれ9.2%、8.4%）に比べて高い。

問18-1で「したことがある」、「両方」、「されたことがある」と回答した方のみ

18(2)-1図 配偶者や恋人間の暴力に関する相談状況について〔全体・性別〕



(19-1) 職場・学校・地域でのセクシュアル・ハラスメントの経験について

問19-1 あなたは、これまでに、職場・学校・地域で、次のような経験をしたことがありますか。

「経験がある」30.3%、「経験はない」69.7% ⇒ 全体の約3割は経験がある

※配偶者や恋人との間で行われる行為(次頁 ア 嫌がっているのに卑猥な話を聞かされた～サ その他)の項目に「職場」「学校」「地域」のいずれか1つでも○がある場合、「経験がある」とする。

【全体】

「経験がある」が30.3%、「経験はない」が69.7%である。

【性別】

女性は「経験がある」が36.7%で男性の22.4%に比べて14.3ポイント高い。

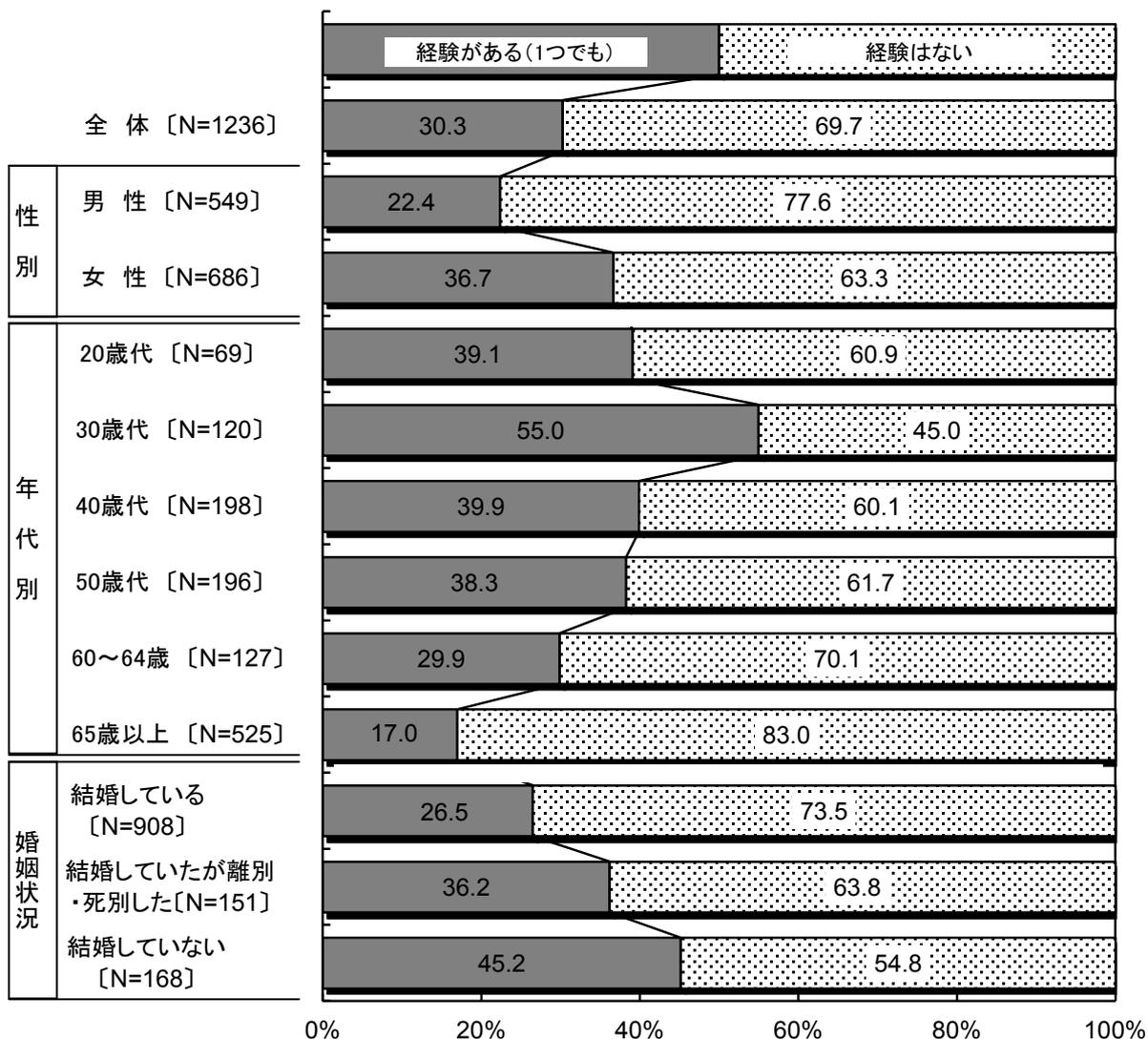
【年代別】

30歳代は「経験がある」が55.0%で最も高い。

【婚姻状況】

結婚していない人は「経験がある」が45.2%と結婚している人の26.5%に比べて18.7ポイント高い。

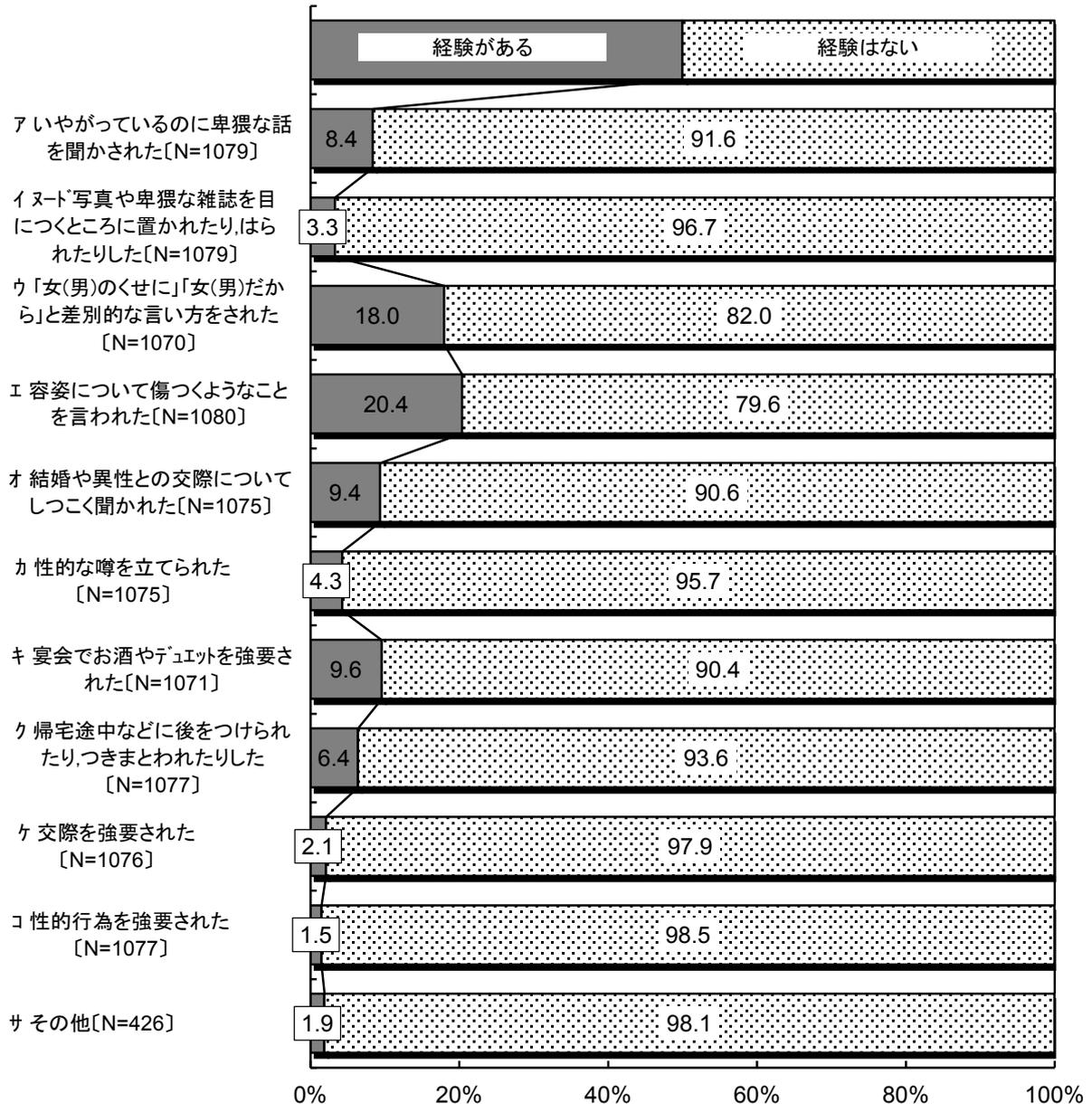
19(1)-1図 職場・学校・地域でのセクシュアル・ハラスメントの経験有無について
〔全体・性別・年代別〕



【行為別】

各行為とも「経験はない」が「経験がある」より高いが、「エ 容姿について傷つくようなことを言われた」が20.4%で、「経験がある」が最も高い。ついで「ウ「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた」が18.0%、「キ 宴会でお酒やデュエットを強要された」が9.6%と高くなっている。

19(1)-2図 職場・学校・地域でのセクシュアル・ハラスメントの経験有無について〔行為別〕



【性別】

男性、女性とも「経験がある」の実数では、「エ 容姿について傷つくようなことを言われた」が男性77人、女性142人で最も多く、ついで「ウ「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた」が男性61人、女性131人と多い。

19(1)-1表 職場・学校・地域でのセクシュアル・ハラスメントの経験有無について

(実数・%)〔男性〕

行為別	人数	受けた場所			経験の有無		経験の有無(%)	
		職場	学校	地域	ある	ない	ある	ない
ア いやがっているのに卑猥な話を聞かされた	475	21	12	5	34	441	7.2	92.8
イ ノード写真や卑猥な雑誌を目につくところに置かれたり、はられたりした	472	11	9	1	17	455	3.6	96.4
ウ 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた	472	36	23	15	61	411	12.9	87.1
エ 容姿について傷つくようなことを言われた	473	40	41	10	77	396	16.3	83.7
オ 結婚や異性との交際についてしつこく聞かれた	471	28	11	7	39	432	8.3	91.7
カ 性的な噂を立てられた	472	12	1	5	17	455	3.6	96.4
キ 宴会でお酒やデュエットを強要された	470	22	5	8	32	438	6.8	93.2
ク 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした	472	4	1	3	8	464	9.4	90.6
ケ 交際を強要された	472	2	0	2	4	468	0.8	99.2
コ 性的行為を強要された	471	0	0	1	1	470	0.2	99.8
全体	549	87	52	34	123	426	22.4	77.6

19(1)-2表 職場・学校・地域でのセクシュアル・ハラスメントの経験有無について

(実数・%)〔女性〕

行為別	人数	受けた場所			経験の有無		経験の有無(%)	
		職場	学校	地域	ある	ない	ある	ない
ア いやがっているのに卑猥な話を聞かされた	604	45	4	12	57	547	9.4	90.6
イ ノード写真や卑猥な雑誌を目につくところに置かれたり、はられたりした	606	10	0	9	19	587	3.1	96.9
ウ 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた	597	80	39	40	131	466	21.9	78.1
エ 容姿について傷つくようなことを言われた	606	71	75	24	142	464	23.4	76.6
オ 結婚や異性との交際についてしつこく聞かれた	604	45	14	20	63	541	10.4	89.6
カ 性的な噂を立てられた	603	11	10	12	29	574	4.8	95.2
キ 宴会でお酒やデュエットを強要された	601	60	2	9	71	530	11.8	88.2
ク 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした	605	14	5	42	61	544	9.4	90.6
ケ 交際を強要された	604	13	4	4	19	585	3.1	96.9
コ 性的行為を強要された	605	8	1	7	14	591	2.3	97.7
全体	686	155	97	114	252	434	36.7	63.3

(19-2) 職場・学校・地域でセクシュアル・ハラスメントされた場合の相談状況について
〔複数回答〕

問19-2 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
○はいくつでも

「どこ(だれ)にも相談していない」	51.3%
「友人・知人に相談した」	30.8%
「親族に相談した」	22.9%

【全体】

「どこ(だれ)にも相談していない」が51.3%と最も高く、「友人・知人に相談した」が30.8%、「親族に相談した」が22.9%で続いている。

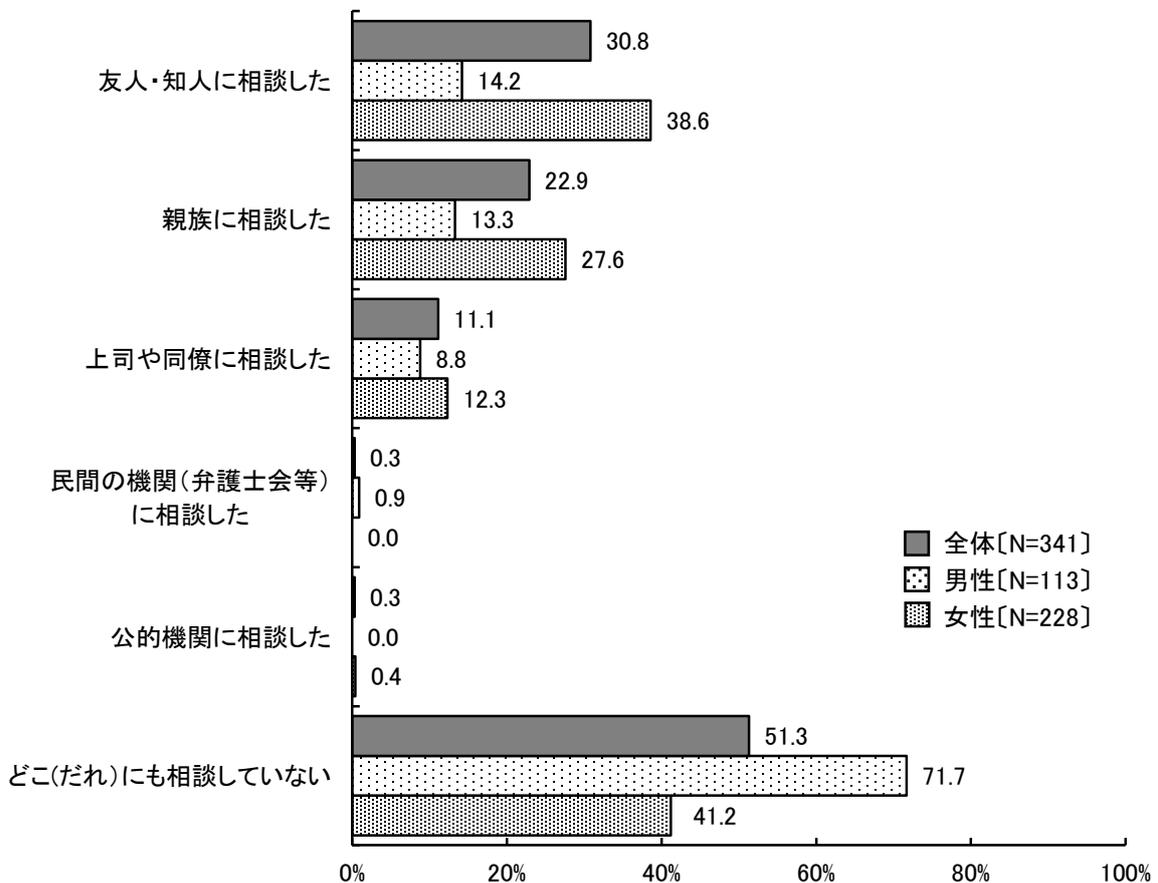
「公的機関に相談した」は、0.3%と少ない。

【性別】

男性は、「どこ(だれ)にも相談していない」が71.7%で、女性の41.2%に比べて30.5ポイント高い。女性は、「友人・知人に相談した」が38.6%、「親族に相談した」が27.6%でいずれも男性（それぞれ14.2%、13.3%）に比べて高い。

問19-1で「職場」、「学校」、「地域」と回答した方のみ

19(2)-1図 職場・学校・地域でセクシュアル・ハラスメントをされた場合の相談状況について〔全体・性別〕



【年代別】

20歳代は、「友人・知人に相談した」が50.0%で他の年代に比べて高い。

「どこ（だれ）にも相談していない」は20歳代が19.2%に対し65歳以上は71.1%と高く、年代に比例して高くなっている。

問19-1で「職場」、「学校」、「地域」と回答した方のみ

19(2)-2図 職場・学校・地域でセクシュアル・ハラスメントをされた場合の相談状況について〔年代別〕

